



慶應義塾大学

通信教育課程



2024 年度入学案内

もう一度、 学ぶ喜びを。

大学に進学しなかったけれど、学ぶことに興味がある。
大学は卒業したけれど、あらためて深く学びたい。
慶應義塾大学は、そんなあなたに、もう一度学ぶ喜びを提供します。

新しい知識との出会い。先生との出会い。友人との出会い。
1858年開塾以来の伝統を誇る慶應義塾では、
高度な知識を持つ教員があなたを待っています。
さまざまな出会いを通じて、もう一度、学ぶ喜びを見つけませんか。





I N D E X

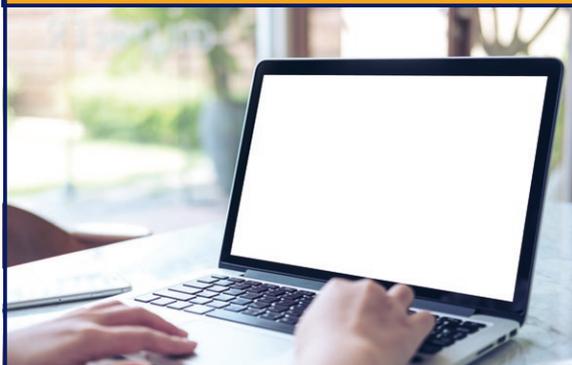
慶應通信の魅力	4
半学半教の精神で豊かな学びを	6
伝統の学びを新たな時代へ	6
慶應義塾の目的／通信教育部の組織	7
文学部紹介	8
経済学部紹介	10
法学部紹介	12
入学資格・在籍期間・認定単位	14
卒業所要単位（卒業までに必要な単位）	15
学費	16
入学から卒業まで	17
通信授業（テキスト）の学び方	18
2023年度テキスト開講科目一覧（実績）	20
面接授業（スクーリング）の学び方	22
スクーリング開講科目一覧 ※2023年度実施例	24
メディア授業（E-スクーリング）の学び方	26
卒業論文・卒業試験	27
教職課程	28
科目等履修生	29
2023年度年間スケジュール（参考）	30
私の学び方（卒業生）	32
キャンパスライフとモデルケース	34
よくあるご質問	36
各種システム	37
学習サポート・奨学制度	38
データで見る通信教育部	39
通信教育部の沿革	40
キャンパス案内	41

Keio University Correspondence Courses

慶應通信の魅力

慶應義塾大学には、1858年以來の伝統と、高度な専門知識を持つ多くの教員を有し、縦横に広がる卒業生の輪があります。そのなかで通信教育課程は1948年に誕生し、以来約70年間、多くの学生に学習の場を提供してきました。その主な魅力をご紹介します。

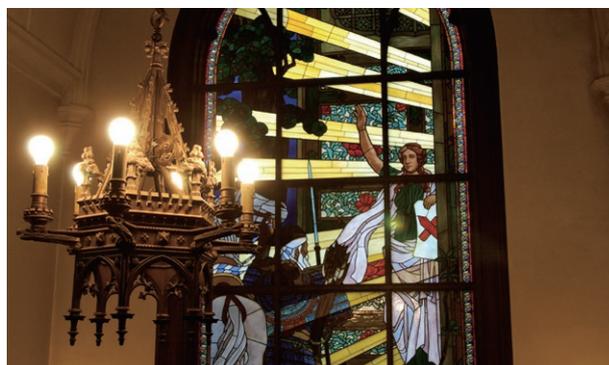
出願はインターネットで行います



出願方法はインターネットによる出願です。出願期間内であれば24時間受付可能です。詳しくはWEBサイトの「[出願をお考えの方へ](#)」にて、学生募集要項や入力要領をご覧ください。

Tradition

150年以上の伝統



創立者福澤諭吉は学問を修める過程で、「智徳」とともに「気品」を重視し、社会の先導者にふさわしい人格形成を志しました。福澤が門下生たちにその志を託した「慶應義塾の目的」(P.7)と呼ばれる一文があります。慶應義塾では160年以上の間、日本トップレベルの大学としてこの目的を受け継ぎ、内閣総理大臣や企業CEOをはじめとする人材が輩出しました。

Tuition Fees

学びやすい学費設定



慶應義塾大学通信教育課程の1年間の学費は、入学初年度が22万円(入学検定料含む)、2年目からは17万円(スクーリング・メディア授業・一部テキストは別途必要、P.16)と、学びやすい額を設定しています。学問を志す多くの方に門戸を開いています。

Learning Process

多様な学習スタイル



通信教育では、テキストによる自宅での学習と、一定期間通学して授業を受けるスクーリングの大きく2つの学習スタイルがあります。スクーリングによる学習の一部は、自宅でインターネットを使って履修するメディア授業などで単位を充当することもできます。一部のテキストは、スマートフォンなどで閲覧することもでき、仕事や家事などの都合にあわせて、いつでもどこでも学習できます。

Faculty

慶應義塾の教授陣



通学課程で教鞭を執る一流の教授陣が指導にあたります。通信授業で使用されるテキストの多くは、専任教員によって執筆されたもので、スクーリングも通学課程と同じ教員が授業を担当することが多いです。卒業論文も専任教員によるきめ細かな個別指導を受けることができるため、安心して学習に取り組むことができます。

Students

在学生 8,000 名以上



「半学半教」という言葉があります。学ぶことは、教えることに通じる。そして、教えることは、学ぶことに通じる。慶應義塾では、学ぶものと教えるものを区別することなく、教員と学生、先輩と後輩などの立場を超え、お互いに学び合い、教え合い、ともに成長する精神を大切にしています。より深い学びを得ることができるからこそ、慶應義塾は多くの人々に選ばれています。

Academic Degree

授与される学位



文学部・経済学部・法学部の3学部で通学課程と同じ学位を得ることができます。

- 文学部 学士（哲学／美学／史学／文学／
図書館・情報学／人間関係学）
- 経済学部 学士（経済学）
- 法学部 学士（法学）

半学半教の精神で豊かな学びを

慶應義塾の教育の精神を伝える言葉はいくつもありますが、そのなかの一つに半学半教というのがあります。教えつつ学び、また学びつつ教えるというのが、その本来の語義になります。

慶應義塾創始者の福澤諭吉は、緒方洪庵が開いた適塾に二十歳で入門し、ここでは教える側も学ぶ側も一緒に切磋琢磨することの大切さを経験しました。その考え方を慶應義塾に発展させたところに、科学や学問の前には教師もなく門弟もなく、といった福澤の精神を見る思いがいたします。

慶應義塾における通信教育は戦後すぐの1948年に発足し、実に三四半世紀におよぶ長い歴史を有しております。そして慶應義塾の通信教育にも、さきに述べたような半学半教の精神が生き生きと働いています。入学後の教職員や卒業生、塾生との多様な交流は、皆さんの学習を助け、また学生生活を豊かなものとしてくれるでしょう。2020年春に始まったコロナ禍は、教育にも大きな影響を与え、オンライン教育が普及しました。通信教育課程においては、西脇与作通信教育部長のときにE-スクーリングという名において、2008年よりオンライン教育が導入され、現在に至っております。コロナ禍によって大学での教育のあり方が根本から問われるようになり、海外の有名大学もリモートで学位がとれる制度を次々と整えています。その先駆けが慶應義塾の通信教育課程です。皆さんの入学を慶應義塾は心から歓迎します。



慶應義塾長
伊藤 公平

伝統の学びを新たな時代へ

慶應義塾大学の通信教育課程は、さまざまな理由から大学に通うことが難しい人々に対して学び続ける機会を提供することを目的として、戦後まもない1948年に生まれました。それ以来、通学課程と同じ教員が教育を担当し、同じ学位を出すという伝統を守り、これまでに1万6千人以上の卒業生を送り出してきました。在学中から卒業後まで、慶友会・三田会などを通じて互いの学びを支えあう関係も、70年以上にわたって形作られ、発展してきたものです。

しかし我々は変わらなくてはなりません。人生100年時代と呼ばれるなかでリカレント教育・生涯学習などが求められるようになり、大学で学ぶ目的も多様化してきました。学びの手段についても、これまでに進めてきたメディア授業（E-スクーリング）や電子テキストの導入に加え、WEB会議システムを用いた研究指導を含め、ネットワークを用いたオンライン化をさらに進めることが予定されています。それはまた、変化する社会環境、パンデミックのような危機のなかでも学びの手段を提供するという、通信教育の社会的使命に応えるものでもあるでしょう。

変わり続ける時代のなかでは、単に同じことを繰り返しているだけで伝統を守り続けることはできません。新たな技術・新たな手段を活用し、より豊かで実りある教育を志ある学生に届けることを、我々は目指します。それを受け止め、自らも学びを通じて変わることができるか。それは学生の皆さんに委ねられた問いです。大学で学ぶ目的と学び続ける志のある学生を、慶應義塾の通信教育課程はお待ちしております。



通信教育部長
大屋 雄裕

慶應義塾の目的

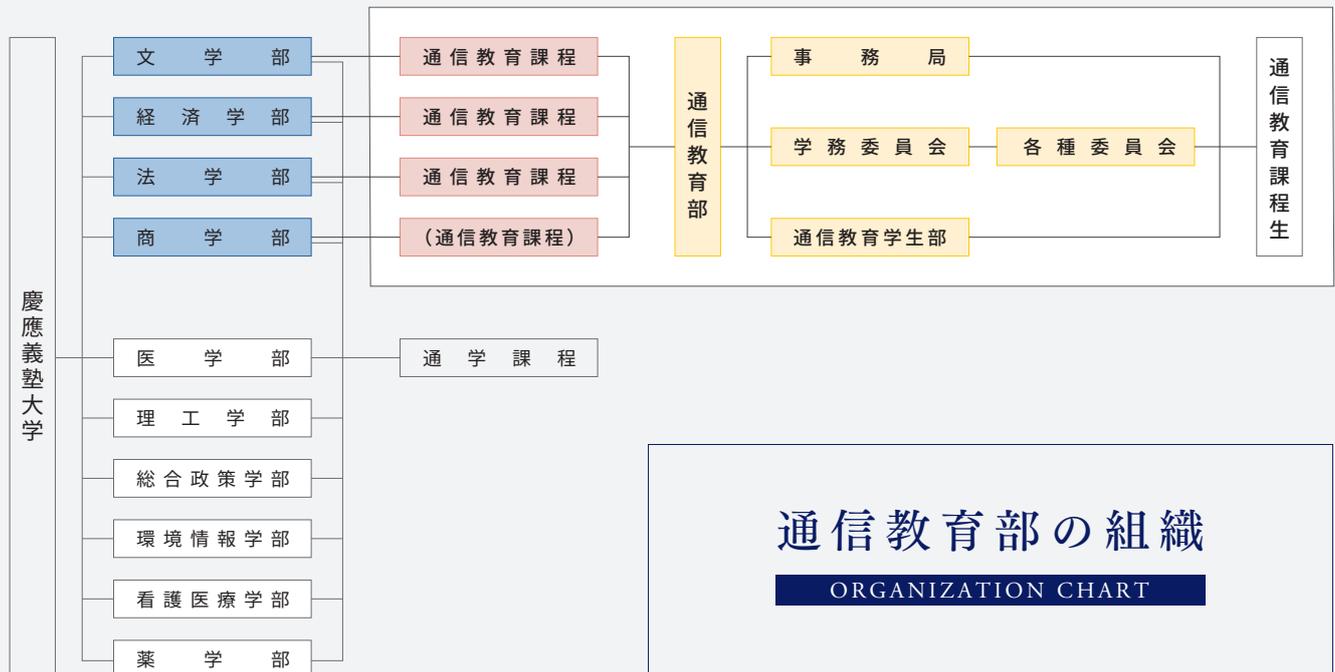
慶應義塾は単に一所の学塾として自から甘んずるを得ず。
其目的は我日本国中に於ける気品の泉源、
智徳の模範たらんことを期し、
之を實際にしては居家、処世、立国の本旨を明にして、
之を口に言ふのみにあらず、
躬行実践、以て全社会の先導者たらんことを欲するものなり

福澤諭吉



【大意】

この塾は単に一時期身を置くだけの通過点の学校ではない。
その目的は日本にとって、気品の泉源、知恵や徳義の模範となることであると見定め、
そのためには家庭や社会、あるいは国がどうあるべきかを具体的に明らかにしていきたい。
そして議論するだけでなく、我々が身をもってその理想を実践することによって、
全社会の先導者、すなわちリーダーを目指していくものである。



慶應義塾大学の設置する10の学部のうち、文学部・経済学部・法学部の3学部に通信教育の課程が置かれています。商学部は通信教育部が発足したのちに設置されたので、通信教育課程は設立当初の3学部のままとし、実質的には、商学部関係の科目は経済学部のなかに含めて行うようにしています。

通信教育部の教員組織は通学課程の教員によって組織され、その運営のため学務委員会が設置されています。学務委員会は、文学部・経済学部・法学部・商学部の教授会、教職課程センターおよび体育研究所から選出された専任教員で構成されています。通信教育課程の運営には、通学課程とは大きく違う面があるため、3学部の通信教育課程については、その運営を一括して通信教育部の組織のもとに総括して行っています。

総合知を獲得するための幅広い学び

慶應義塾大学文学部には単に文学のみならず、人文・社会科学全般の研究分野（哲学、歴史、文学、図書館・情報学、社会学、心理学、教育学、人間科学など）から構成される学部です。通学課程には17の専攻が設置されていますが、通信教育課程においては、それらを大きく3類にまとめています。入学者は第1類：哲学、第2類：史学、第3類：文学のいずれかを選択して学びます。

文学部の教育目標・方針として以下の3つのポリシーを掲げています。
通信教育課程 WEB サイト「[文学部 教育目標・方針](#)」にて確認してください。

- ・アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)
- ・カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)
- ・ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)



文学部長
佐藤 孝雄

慶應義塾大学文学部 (Faculty of Letters) では「文 (Letters)」を幅広く「学芸」(学問・芸術・科学) 全般を包含する「知」を意味する語として捉えています。人類がかつて経験したことのない様々な難題に直面している現代社会にあっては、既存の学問分野に拘ることなく、総合知を求め、事象を多角的かつ包括的に捉える視点も育まなければなりません。本学部は、1890(明治23)年創設来の130年以上もの長き伝統を持ちながら、建学者、福澤諭吉の「自我作古(われよりいにしえをなす)」という信条に基づき、絶えず新たな「知」の地平を切り開こうとする革新的な学部です。皆さんを本学部にお迎えできることを楽しみにしております。

第1類

哲学、倫理学、美学美術史学、図書館・情報学、社会学、心理学、教育学、人間科学の各専攻領域を中心として、広義の哲学や人間科学に含まれる専門研究を行います。人間の存在、認識、価値を省察する哲学や倫理学から、実験を基盤として自然科学の性格をも帯びる心理学、個人の美的感受性の分析から集団のコミュニケーション研究まで、多様な分野があります。

第2類

日本史学、東洋史学、西洋史学、民族学考古学の各専攻領域を中心として、歴史に関する専門研究を行います。それぞれの専門領域の枠をこえて、キリシタン史のように東西にまたがる研究や、また西洋と東洋の接点であるオリエントの歴史、ポリネシアや東南アジアにも及ぶ民族学と考古学など、時間軸から世界を捉えようとする研究分野もここに含まれます。

第3類

国文学、中国文学、英米文学、独文学、仏文学の各専攻領域を中心として、文学と言語研究を主要な対象とした研究を行います。日本の諸大学の文学部の中でも特筆に価するレパトリーの広さと伝統を持ち、第1、2類の諸専攻との連携の上で、専門的かつ総合的な研究を行います。

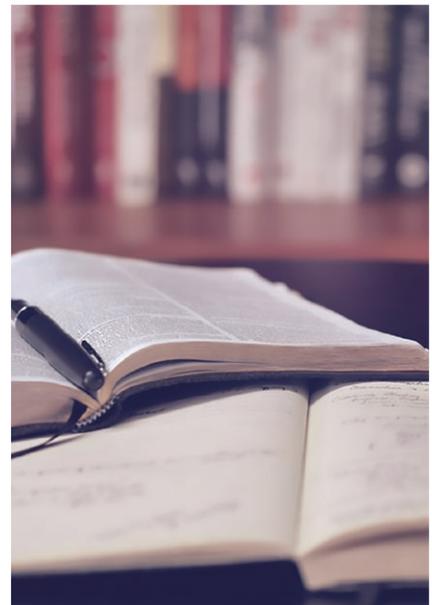
TEXT | テキスト科目

科学哲学

この科目は、慶應義塾の哲学専攻における伝統の一つである「科学の哲学」の講義に基づくものです。科学哲学の入門書・教科書の類は他にも見かけますが、ここまで包括的かつ高度な内容を含むものはそう多くはないでしょう。前半では科学を外から眺め、古代ギリシャ以来の哲学および科学の歴史を概観しながら、科学に関する現代の哲学的議論について学ぶことができます。後半では科学の内部に深く分け入り、個別の科学分野（量子力学や進化生物学）に潜む哲学的問題に挑戦します（また時間論や確率論について書かれた章もあります）。前半が基礎であるのに対して、後半は発展的な内容を含み、各章が並列的に書かれているので、前半を一通り読んで理解したあとは、自分の興味のあるトピックを扱っている章の一つを選んで深く学ぶというやり方も可能です。現代哲学におけるオーソドックスな思考法の一つに直に触れられるということも、本講義の大きな特徴の一つと言えるでしょう。

志願者へのメッセージ

昨今はインターネット技術のおかげで多様な情報に容易にアクセスできるようになりましたが、哲学的な思考法のようなノウハウは簡単には手に入りません。腰を据えてテキストに立ち向かい、価値のある知識をぜひ積極的に探し求めてみてください。



田中 泉吏 准教授

専門領域 哲学・倫理学

主要著作

「よくわかる哲学・思想」(共著)(ミネルヴァ書房、2019年)、「生物学の哲学入門」(共著)(勁草書房、2016年)、「モラル・サイコロジ—心と行動から探る倫理学」(共著)(春秋社、2016年)、「進化の弟子—ヒトは学んで人になった」(共訳)(勁草書房、2013年)、「入門 科学哲学—論文とディスカッション」(共著)(慶應義塾大学出版会、2013年)他

SCHOOLING | スクーリング科目

近代日本文学

文学作品の中にはさまざまな人生があり、恋愛でも怪異でも、経済も戦争も歴史も、あらゆるものが描かれ、読むことによって疑似的な体験もできます。そのため、読書は好きだという方は多いと思いますが、その分、研究するとなるとイメージが湧かないという方もいると思います。特に近代日本文学には、読むために外国語も古典文法も必要ない代わりに、文学とは何なのか、それを明らかにするにはどうしたらよいかという理論や方法論が必要です。この講義では、今日までの研究方法の進展を概観しながら、作家の人生を考える以外にも多様な研究の着眼点があることを学んでいきます。扱う作品は年度によって異なりますが、芥川龍之介や太宰治をはじめ、田村俊子や室生犀星などの複数の作品を例に、本文校異の意義や、同時代評の扱い、挿絵への注目、またジェンダー論やポストコロニアリズムなどを使った分析についても発展的に勉強していきます。

志願者へのメッセージ

文学研究に必要な知識や論理性を身につけるには時間がかかりますが、他の受講者と作品について話し合ったりすると、思わぬ発見もあり、難しく感じていたハードルを、案外楽しく超えられるかもしれません。スクーリングならではの知を発展させてください。

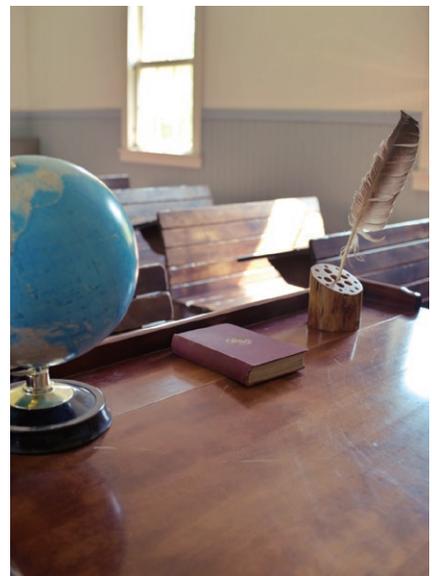


小平 麻衣子 教授

専門領域 近代日本文学

主要著作

「なぞること、切り裂くこと—虚構のジェンダー」(以文社、2023年)、共編著「ジェンダー×小説ガイドブック—日本近現代文学の読み方」(ひつじ書房、2023年)、「小説は、わかってくればおもしろい—文学研究の基本15講」(慶應義塾大学出版会、2019年)他



経済現象の体系的な理解をめざす

1948（昭和23）年に文学部・経済学部・法学部で開設された慶應義塾の通信教育課程は、すでに70年以上の歴史をもちます。通学課程では経済学部と商学部がそれぞれ独立していますが、通信教育課程では、経済学部の中で商学部系の科目が履修できるようになっています。その意味では、通学課程よりも幅の広い教育を受けることができます。

経済学と商学はたがいに隣接する社会科学の分野で、どちらも現代社会における広い意味での経済現象を考察の対象としています。経済学は、地域や国家や世界といったさまざまな経済の担い手が集まった複合体の解明に、より大きな関心があります。他方で商学や経営学は、国家の観点からではなく、あくまで一企業の観点から研究を行う学問です。ただしこれらは力点の置き方の違いで、経済学的な考察のためにはしばしば商学的な、より現実的な知識が必要ですし、商学的な、より実践的な学問の基礎としては経済学的な思考が不可欠です。

経済学部は、経済学の基礎コースからはじまって、経済理論、計量経済、経済史、経済学史・思想史、経済政策、日本経済、国際経済、商業学、経営学、会計学、法律学の各コースを提供しています。これらのコースは、いずれも経済現象の理論的分析と実証的分析への基本的視点を提供するものとなっています。さらに経済現象を歴史的に捉えるために必要な経済史関係の科目、経済学の過去を振り返る経済学史・思想史関係の科目、人口・環境・都市と地域など社会関連の学際的な科目も多く配置しています。

経済学部の教育目標・方針として以下の3つのポリシーを掲げています。
通信教育課程 WEB サイト「[経済学部 教育目標・方針](#)」にて確認してください。

- ・アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）
- ・カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）
- ・ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）



経済学部長
駒形 哲哉

経済学部の通信教育課程の最大の特徴は、経済を理解するための二つの接近視角——経済学と商学とを一つの学部のカリキュラムとして学ぶことができるということです。経済を動かしているのは極論を言えば企業の経営活動です。企業活動の場である市場と、市場をとりまく様々な制度政策に注目し、主に企業の外側から経済を探究するのが経済学で、マーケティング・経営管理・会計など、企業の内側での営みから探究するのが商学だと私は認識しています。経済を深く理解しようとするれば、経済学と商学の両方から接近することが必要になります。皆さんが、通信教育課程の特徴を学びに十分に生かして、真の経済学徒となられることを祈念しております。



商学部長
牛島 利明

商学部が通信教育課程の皆さんに提供する商業学、経営学、会計学などの科目は、企業やその内部組織、あるいは経営者や社員、消費者などの人間という単位に注目して経済現象を分析する分野が中心です。経済現象を扱うという点では経済学系の科目と共通していますが、企業や個人というマイクロな主体の行動に注目するのが商学系科目の特徴ということになるでしょう。また、授業科目のみならず、商学に関わるテーマで卒論を執筆する場合には商学部の専任教員が指導に当たります。通信教育課程の皆さんには、授業や卒論指導などの機会を通じ、商学独自の視角や分析方法を学ぶことで、経済現象の体系的な理解をより深めていただきたいと思います。

TEXT | テキスト科目

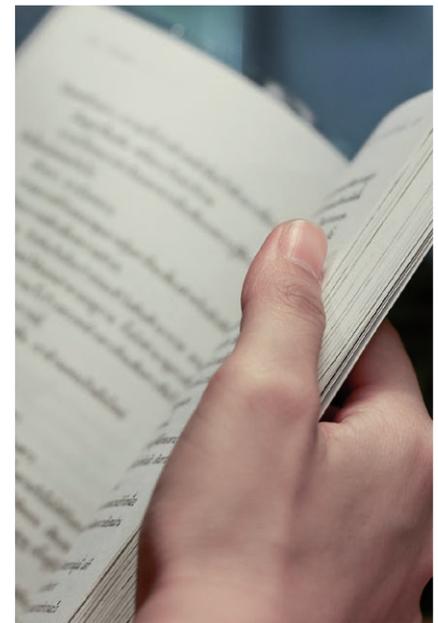
日本経済史

日本経済史は、現代社会を築き上げてきた様々な事象について歴史的に考え、「これから」を考える力を身に着けることを目的としています。バブル崩壊、オイルショック、高度経済成長、戦後改革など、いま私たちが生活する上で大きな影響を与えた歴史的なトピックがいくつもあります。こうした現象がなぜ起こったのか、そしてこの事実から我々は何を学び、今後にどう生かしていけばよいのか。この問いを追究するためには、短期的な視点ではなく、日本史全体を長期的に俯瞰して見つけ、金融や製造業、そして流通業に及ぶ幅広い分野で考察することが求められます。

本講義では、経済事象を歴史的な研究手法を用いながら解説していきます。歴史研究は、新資料の発掘や経済理論の活用によって、日々進歩しています。最新の学説に触れながら、歴史研究の面白さも体感していただければと思います。

志願者へのメッセージ

歴史研究は、「出会い」の連続です。地域に足を運んで新しい資料を発見し、お話を伺っていると新たな発見がいくつもあります。「なぜこんなことが起きたのか?」、自分の問いを胸に歴史研究に取り組めば、学びは大きく広がります。ぜひ、日本経済史の面白さを体感してください。



橋口 勝利 教授

専門領域 人文・社会、経済史、日本経済史

主要著作

『近代日本の工業化と企業合併－渋沢栄一と綿紡績業』（京都大学学術出版会、2022年）
『日本経済史』（石井 里枝、橋口 勝利 共編著、ミネルヴァ書房、2017年）他

SCHOOLING | スクーリング科目

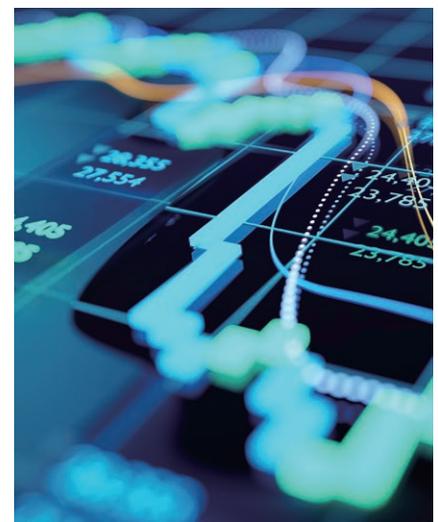
工業経済論

皆さん、工業に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。黒煙を拭き上げながら、トタン屋根をした工場でのベルトコンベアによる生産活動とざっくりと捉えていないでしょうか。これは一面では正しいのですが、工業はより奥深く、またより多様でもあります。工業は製造そのものに留まらず、モノやサービスの設計や調達、販売など付加価値の創造を伴う幅広い概念であり、さらに付加価値を巡るバリューチェーンによって現代社会の隅々まで影響が及んでいるからです。

そこで本講義では具体的なモノを想定しながらも、多様な付加価値、企業行動、イノベーション、その帰結としての工業化を受講者の皆さんと一緒に考えていくことになります。より具体的には、本講義は(1)組織に着目しながら、企業や市場、それを巻き巻く経済についての考察、(2)経済学や経営学の実証成果や基本的な理論に基づいて、工業化のあり方や企業行動の確認、(3)厳密に実証されていない点についても事例や歴史からの考察、といったアプローチから、多様な現代社会の理解とそこでの工業の理解に挑みます。

志願者へのメッセージ

経済学は厳密な学問体系であり、まずは基本の原理原則を学ぶことが重要です。あわせて、そうした理論の端緒となるような、問いを自身で設定し、それに対するオリジナルな仮説や主張を導出していくことも重要です。講義では受講者同士の議論の場も数多く設定することで、そうした問いや仮説に類するような発見、示唆を得られるようにしたいと考えています。



三嶋 恒平 准教授

専門領域 国際経営論、産業発展

主要著作

『中国の日系企業 蘇州と国際産業集積』（植田 浩史、三嶋恒平 編著、慶應義塾大学出版会、2021年）
三嶋恒平「新興国企業バジャジの進化プロセス：先進国企業との戦略的提携関係に至る戦略と行動」佐藤隆広編『経済大国インドの機会と挑戦：グローバル・バリューチェーンと自立を志向するインドの産業発展』白桃書房、11章(pp.333-374)他

法や政治の理解を通して深く“世界”に関わろう

法学部の通信教育課程は、甲類(法律学を主とするもの)と乙類(政治学を主とするもの)の二つに分かれています。入学にあたって皆さんは、甲類・乙類のどちらかを選択していただくことになります。甲類で学ぶ法律学も、乙類で学ぶ政治学も、社会のルールや仕組みを学ぶうえで不可欠な学問であり、それぞれ固有の領域をもちながら、実は背後で相互に結びついています。

英語で議員(立法者)のことを“Lawmaker”といいます。まさに政治家は法律の作り手として理解されるのです。ただし法律は政治家の思うままにつくることのできるものではありません。「法」の規範性や論理性を前提としなくては、それは政治家のただの「思い」にしかすぎません。法律を生み出すのは政治権力で、その意味で政治は法律に先立つといえます。ですが、一旦法律ができると、それは政治権力からある程度自立するし、また政治権力も法律によって拘束されることになります。その意味で、両者は相互依存関係にあります。法学部に学ぶ皆さんにおいては、法と政治という隣接した教科同士の関連についても関心を持っていただければ幸いです。

慶應義塾で法律学科が開設されたのが1890(明治23)年です。政治学科は1898年に設置されました。長い歴史と伝統をもち、これまで数多くの優れた卒業生を輩出してきた慶應義塾大学法学部で、皆さんも新しい可能性を見つけてみませんか。

法学部の教育目標・方針として以下の3つのポリシーを掲げています。
通信教育課程 WEB サイト「[法学部 教育目標・方針](#)」にて確認してください。

- ・アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)
- ・カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)
- ・ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)



法学部長
堤林 剣

[学ぼう! 法学部!] 人間が平和的に共存し、自由や基本的人権を守り、豊かさを実現するためには、法と政治が不可欠です。人類の歴史を振り返れば、戦争や貧困や暴政はむしろ一般的ですらありました。万人に生まれながらにそなわる自由や権利、正当な支配としてのデモクラシーにまつわる認識が今日の世界で広く共有されているのは、人びとがそうした陥穽を避けようと努力し続けた結果です。しかし原理が認識されたとしても、それを社会において実現するためにはいっそう不断の努力が必要となります。法と政治はそのためのツールであり、法学と政治学はツールを使いこなすうえで欠かせない知識・経験・思索の蓄積なのです。このような人類の英知について学びたい方は、ぜひチャレンジしてみてください。

甲類

憲法、民法、刑法、商法をはじめとする日本の現行の六法分野にとどまらず、経済法や社会保障法、それに国際法や外国法、さらに法(正義)の理念や法学の方法論を学ぶ法哲学、そして法の歴史をひもとく法制史など、さまざまなアプローチからの法を興味深く学ぶ機会を提供します。さらに政治的な言説の伝達に関わるマスコミュニケーション理論も学べます。

乙類

社会現象を理解する分析方法やさまざまな理論を学びつつ、古代から現代にいたる政治史や政治思想史を、日本はもちろんのこと他の地域においても考察し、国際比較のなかに現代の政治課題を深く考えるカリキュラムを提供します。その他、民法、国際法など、法律についても学べます。

TEXT | テキスト科目

法哲学

2018年にテキストを全面的に改訂しました。長年にわたって慶應義塾大学には法哲学の専任教員がいなかったこともあり、内容が相当に古びてしまっていたからです。もちろん法哲学は2500年にわたる西欧近代法の歴史とともに歩んできた悠久の存在ではありますが、それでも1970年代以降は正義論、つまり正義になかった社会のあり方や制度の基準はどのようなものかを考える分野を中心として、グローバルな展開が進んでいます。今回の改訂では、そのような状況を踏まえて英米圏の哲学に立脚した正義論を主な対象にしました。もとよりそれは、テキストの紙幅や学習時間とのバランスから導かれた一定の限界内で構成された、ある特定の法哲学であるにすぎません。上記のように内容の焦点を設定したことにより、たとえば法解釈方法論や権利・義務といったものの性質を分析する分野である法概念論、あるいはドイツ圏の哲学に由来するさまざまな理論は射程から外れることになっています。それらに関心のある学生には、テキストやそこで提示される参考文献を足がかりにして、他の教科書や研究書へと学習を進めていってほしいと考えています。哲学は本来、既存の観念を疑い自ら考える学問です。問題へと主体的に取り組む姿勢を、法哲学のテキストと学習から身に付けてほしいと願っています。

志願者へのメッセージ

大学での学びとは、すでに存在する正解を教わるのではなく、自ら問い直し作り出していく作業です。通信課程であってもそのことは変わりません。次世代の知の探究を担うものとしての矜持を持って学習に取り組んでください。



大屋 雄裕 教授

専門領域 法哲学

主要著作

『法解釈の言語哲学』（勁草書房、2006年）、『自由とは何か』（筑摩書房、2007年）、『自由か、さもなくば幸福か?』（筑摩書房、2014年）、『法哲学』（共著、有斐閣、2014年）、『法哲学と法哲学の対話』（共著、有斐閣、2017年）

SCHOOLING | スクーリング科目

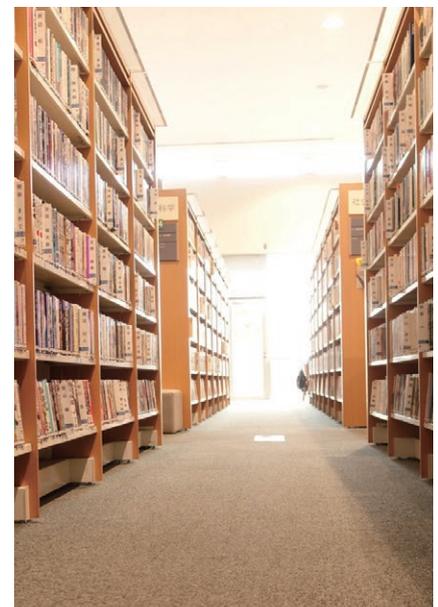
地域研究 (アメリカ政治)

しばらく前から、「分断」がアメリカを語る際のキーワードになっています。人種や宗教など個人のアイデンティティに基づく対立が深まっただけでなく、それが党派対立とも対応するようになり、2021年1月には選挙の結果を受け入れない暴徒が連邦議会議事堂を占拠する事件まで起きました。今や、民主主義の「後退」まで危ぶまれています。

これは憂慮すべきことですが、どれ位新しく、深刻なことなのでしょう。例えば南部で19世紀半ばまで奴隷制が、また1960年代まで投票権の差別を含む法的な人種隔離が残ったというように、人種をめぐる分断はずっと続いてきました。またひとくちに分断といっても、政治的な表れ方は様々です。連邦政府では必要な立法の成立も覚束ない一方、各州の政府では人工妊娠中絶規制など、イデオロギー的な特色のはっきりした政策が次々に実現しています。この授業では、目の前の出来事を理解するための座標軸を提供することを意識しつつ、現代政治の構造と歴史の両面からアメリカ政治のからくりを解説します。

志願者へのメッセージ

政治学は、どんな政治現象（政策、選挙結果、戦争など）が起きたかを知るだけでなく、それがなぜ、どのように起きるのかの説明を重視する学問です。今起きていることへの関心を大事にしつつ、一歩引いて理屈で考える姿勢を身につけてほしいと思います。



岡山 裕 教授

専門領域 政治学

主要著作

Judicializing the Administrative State: The Rise of the Independent Regulatory Commissions in the United States, 1883-1937 (Routledge, 2019)、『アメリカの政党政治—建国から250年の軌跡』（中央公論新社、2020年）他

入学資格・在籍期間・認定単位

入学資格について

大学を卒業することを目的として入学する学生のことを正科生と言います。正科生の入学資格は次のとおりで、出願時の最終学歴により入学の課程が異なります。詳細は学生募集要項を確認してください。

普通課程

いずれも2024年4月1日現在、満18歳以上の者で、

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、および2024年3月卒業見込みの者^{※1}
2. 高等専門学校の第3学年を修了した者、および2024年3月修了見込みの者^{※1}
3. 学校教育法施行規則第150条にある高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認められる者、および2024年3月31日^{※2}までにこれに該当する見込みの者

特別課程

1. 短期大学を卒業した者、および2024年3月卒業見込みの者^{※1}
2. 高等専門学校（5年制）を卒業した者、および2024年3月卒業見込みの者^{※1}
3. 大学2年以上修了し、卒業所要単位を62単位以上修得した者
4. 外国の短期大学卒業者は、Associate Degreeを有している者。
なお、2年制・3年制の専門学校卒業者は、特別課程の出願資格はありません。

学士入学

1. 大学を卒業した者、および2024年3月卒業見込みの者^{※1}
2. 学校教育法の規定により、学士の学位を授与された者
3. 外国の大学卒業者は、Bachelor Degreeを有している者

※1 10月1日入学の場合、2024年9月卒業見込みの者

※2 10月1日入学の場合、2024年9月30日まで

在籍期間について

在籍期間は入学課程により次のとおりとなります。

普通課程

卒業のためには4年間は在籍する必要がある、入学時から最長12年間在籍できます。

特別課程

卒業のためには3年間は在籍する必要がある、入学時から最長12年間在籍できます。

学士入学

卒業のためには2年半は在籍する必要がある、入学時から最長12年間在籍できます。

認定単位について

卒業までに必要な単位数合計は124単位（P.15）ですが、特別課程（短期大学卒業生など）、学士入学（4年制大学卒業生など）の方には、一部の科目の単位を認定し、履修が免除されます。

特別課程

18単位 総合教育科目3分野科目のテキスト科目

学士入学

40単位 総合教育科目（必修外国語を除く）
（経済学部では36単位となる場合もあります）

注意

- ① 当通信教育課程では、「臨床心理士」「博物館学芸員」「図書館司書」の資格を取得できません。
- ② 使用する言語は日本語です。原則、テキスト、補助教材、科目試験等は日本語を使用し、レポートも日本語で作成します。
- ③ 科目試験、スクーリング、卒業論文指導等はすべて日本国内で実施します。

卒業所要単位（卒業までに必要な単位）

		テキスト	スクーリング	合計	
		総合教育科目 48単位	(1) 3分野科目	人文科学分野	24 単位以上
社会科学分野					
自然科学分野					
(2) 必修外国語科目	所定の組み合わせで合計 8 単位		8 単位		
(3) 選択外国語科目	単位の修得は任意		4 単位まで		
(4) 保健体育科目	(希望しない場合は、修得しなくてもよい)		4 単位まで		
上記の要件を充足のうえ、48 単位以上修得の必要がある					

- 経済学部では、(1)3分野科目(自然科学分野)のテキスト科目「統計学」(4単位)が必修科目です。
- 特別課程入学の場合は、(1)3分野科目のテキスト科目が18単位分認定されます。また、各分野ごとに1科目2単位を充たしているとみなされるので、各分野ごとに1科目以上4単位以上を修得する必要があります。
- 学士入学の場合は、(2)必修外国語科目8単位を除く、総合教育科目で40単位(または36単位)が認定されます。(2)必修外国語科目で「仮認定」を受けた場合は、レポートの提出は免除され、科目試験に合格すると単位を修得できます。
※出願登録する際に、「必修外国語履修届」欄にて、英語・ドイツ語・フランス語いずれか1か語を選択し、届出いただきますこの「必修外国語履修届」と同一の外国語の単位を出身校で8単位以上修得している場合、必修外国語の仮認定が受けられます。仮認定を受けた外国語はレポートの提出は免除され、科目試験に合格すると単位を修得できます。(仮設定を希望しないこともできます)。
- 本学卒業者は(2)必修外国語科目の単位が認定されます。(ただし、認定を受けたい語種の修得単位が8単位未満の場合は部分認定となります)

		テキスト	スクーリング	合計	
専門教育科目 68単位	文学部				
	必修科目	40 単位以上	28 単位まで	所属する類の科目から 28 単位以上修得	
	選択科目			所属する類以外の科目からも修得	
	合計	40 単位以上	28 単位まで	68 単位以上	
	上記の要件を充足のうえ、68 単位以上修得の必要がある				
	経済学部				
	必修科目	経済原論(ミクロ経済学)	23 単位以上	28 単位まで	51 単位以上
		経済原論(マクロ経済学)			
		経済政策学			
		経済史			
財政論					
経営学					
金融論					
選択科目	40 単位以上	28 単位まで	68 単位以上		
上記の要件を充足のうえ、68 単位以上修得の必要がある					
法学部					
必修科目	甲類	憲法	20 単位以上	20 単位以上	
		民法総論			
		刑法総論			
	乙類	政治学			
		憲法			
選択必修科目	40 単位以上	28 単位まで	68 単位以上		
選択科目	任意	28 単位まで	任意		
合計	40 単位以上	28 単位まで	68 単位以上		
上記の要件を充足のうえ、68 単位以上修得の必要がある					
卒業論文			8 単位		
合計			124 単位		

- 入学課程ごとに、卒業所要単位には次のスクーリング所要単位を含める必要があります。

入学課程	単位数
普通課程	30 単位以上
特別課程	22 単位以上
学士入学	15 単位以上

学費

正科生（年額）*1	初年度	2年目以降
入学検定料*2	20,000円	—
入学金*2	30,000円	—
在籍基本料	30,000円	30,000円
授業料*3	140,000円	140,000円
合計	220,000円	170,000円

- * 1 学費は在学中に改定される場合があります。また、2027年度学費（在籍基本料、授業料）からスライド制を導入します。スライド制とは、原則として、当年度の学費に特定のスライド指標の対前年度アップ率を掛けて次年度の学費を算定するものです。
- * 2 学部変更・類変更・再登録の際にも必要となります。
- * 3 市販書採用科目およびテキストが書き換えられた科目を履修する場合は、書籍代が別途かかります。

スクーリング受講料（正科生共通）*3	単位	金額
夏期スクーリング*1	1単位あたり	5,000円
体育スクーリング*1	1単位あたり	5,000円
実験スクーリング*1	1単位あたり	5,000円
夜間スクーリング*1	1単位あたり	5,000円
週末スクーリング*1	1単位あたり	5,000円
通年スクーリング	—	別に定めます
メディア授業（E-スクーリング）*2	1単位	10,000円
	2単位	20,000円

- * 1 スクーリング受講料は2026年度から1単位あたり6,000円となります。
- * 2 メディア授業（E-スクーリング）受講料は2026年度から1単位あたり12,500円となります。
- * 3 使用するテキストによっては、別途料金がかかる場合もあります。

在学所要年数でかかる学費（参考）	普通課程	特別課程	学士入学
在学所要年数	4年	3年	2年半
スクーリング所要単位	30単位以上	22単位以上	15単位以上
固定学費（合計）*1	730,000円	560,000円	475,000円
スクーリング受講料（合計）*2	150,000円	110,000円	75,000円
学費の総合計	880,000円	670,000円	550,000円

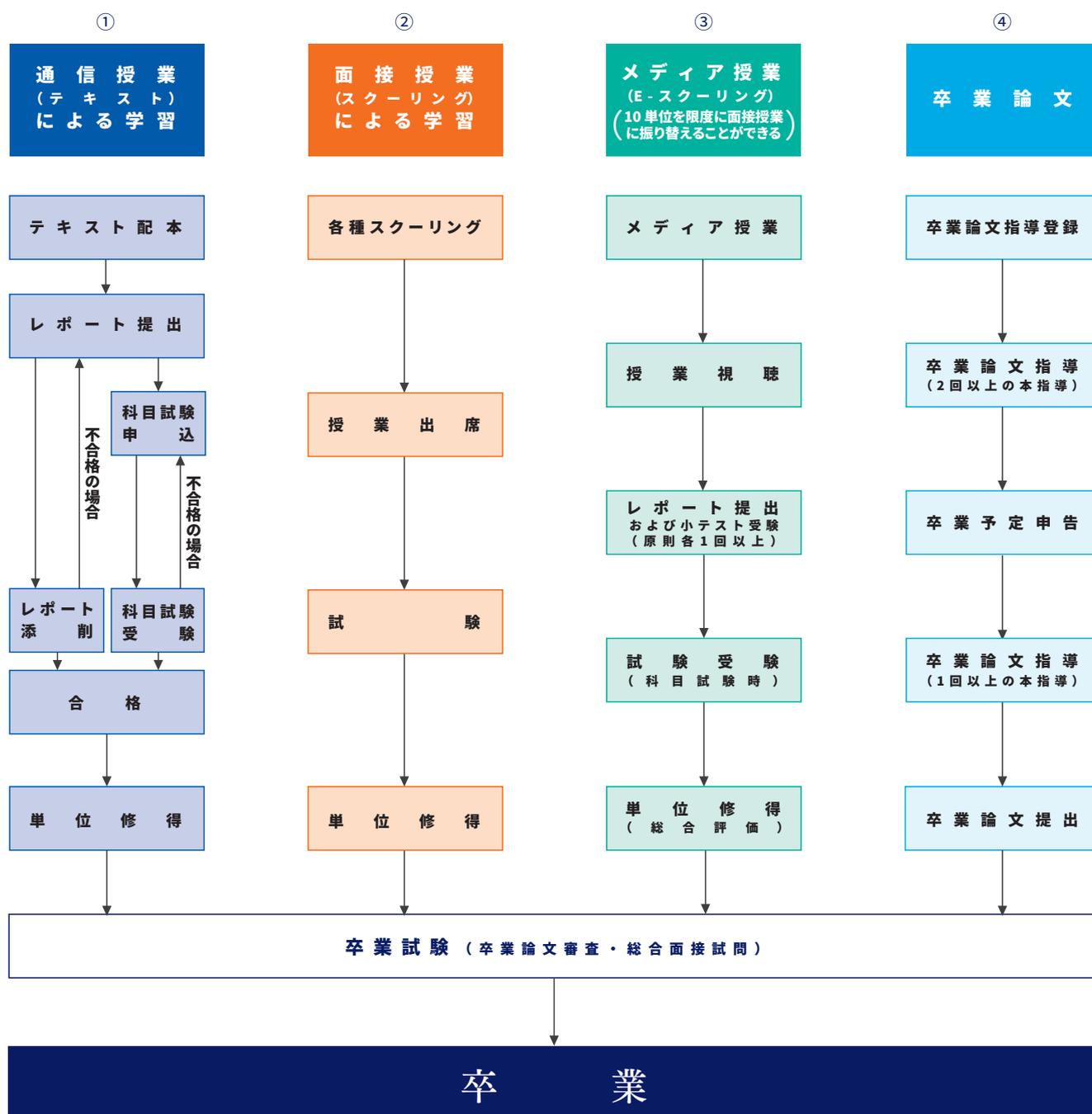
- * 1 在学所要年数経過後も継続して在籍する場合は、正科生学費の2年目以降の金額を毎年納入していただきます。
- * 2 受講するスクーリングの種別や受講年度によっては、別途費用がかかります。また、スクーリングを所要単位以上修得する場合は、その分の受講料が加算されます。

入学から卒業まで

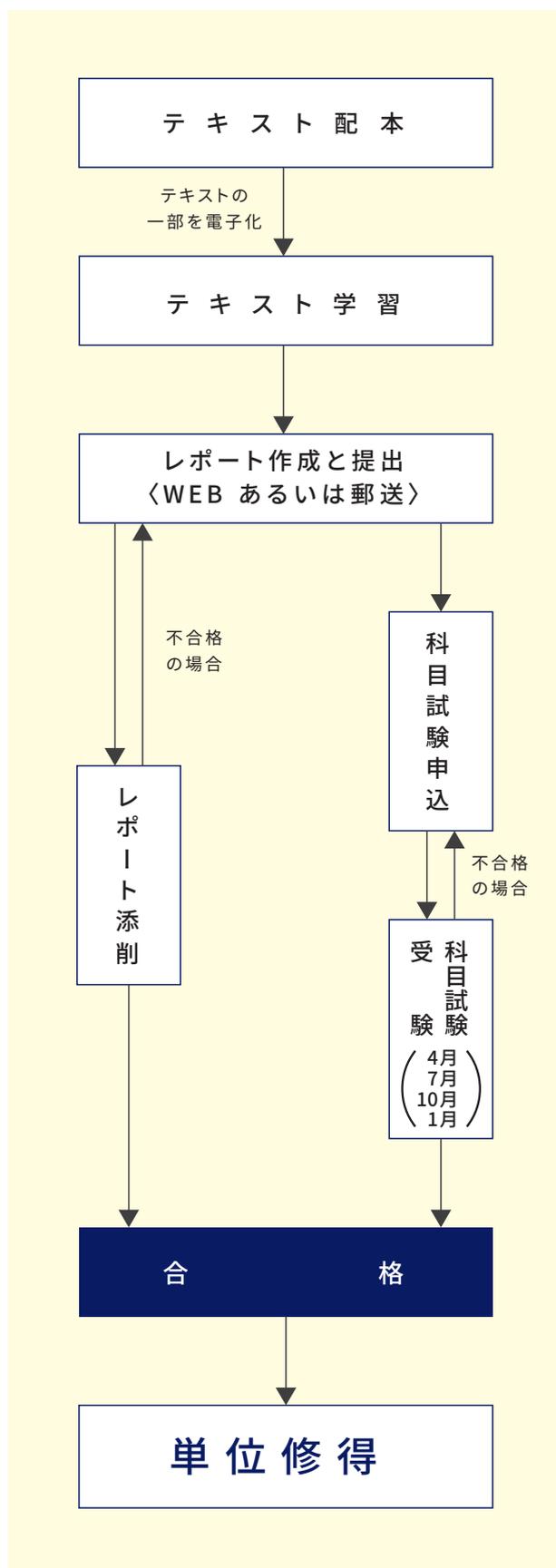
入学から卒業までの学習の方法とその過程を簡単に図示すると次のとおりです。

卒業するためには、①通信授業、②面接授業の両方をそれぞれ履修し、卒業所要単位（P.15）を充たす必要があります。面接授業のうち卒業までに必要な単位の一部を、③メディア授業で履修することもできます。なお、当通信教育課程では④卒業論文は必須です。

入 学

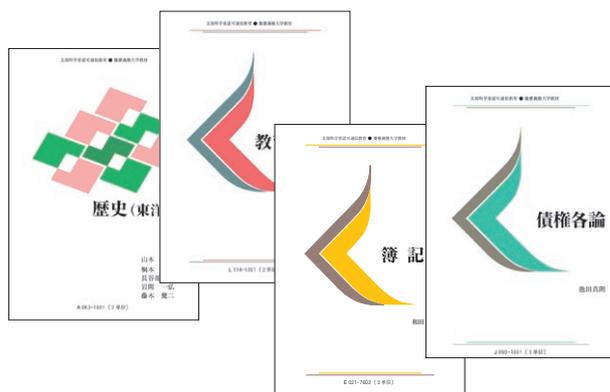


通信授業（テキスト）の学び方



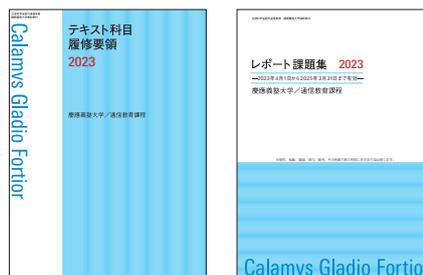
テキスト学習

入学すると配本計画に基づきテキストが配布され、配本を受けた科目は履修を開始することができます。科目によっては市販書を使用するものもあり、別途購入が必要になることもあります。一部のテキストは、配本された印刷媒体に加え、スマートフォンやタブレット端末でも閲覧することができます。



レポート作成

テキストによる学習では、補助教材『テキスト科目履修要領』でポイントを確認しながら、自宅学習を行います。テキストによる学習を終えたら、『レポート課題集』で出題された課題に基づいてレポートを作成し、提出します。講義要綱・シラバスに記載されている「レポート作成上の注意」などもよく読んで作成してください。提出されたレポートは担当教員が添削指導します。不合格の場合は、コメントをよく読んで再提出時に活かしてください。レポートは郵送で提出する他に、一部の科目では、WEBで提出することが可能です。



科目試験

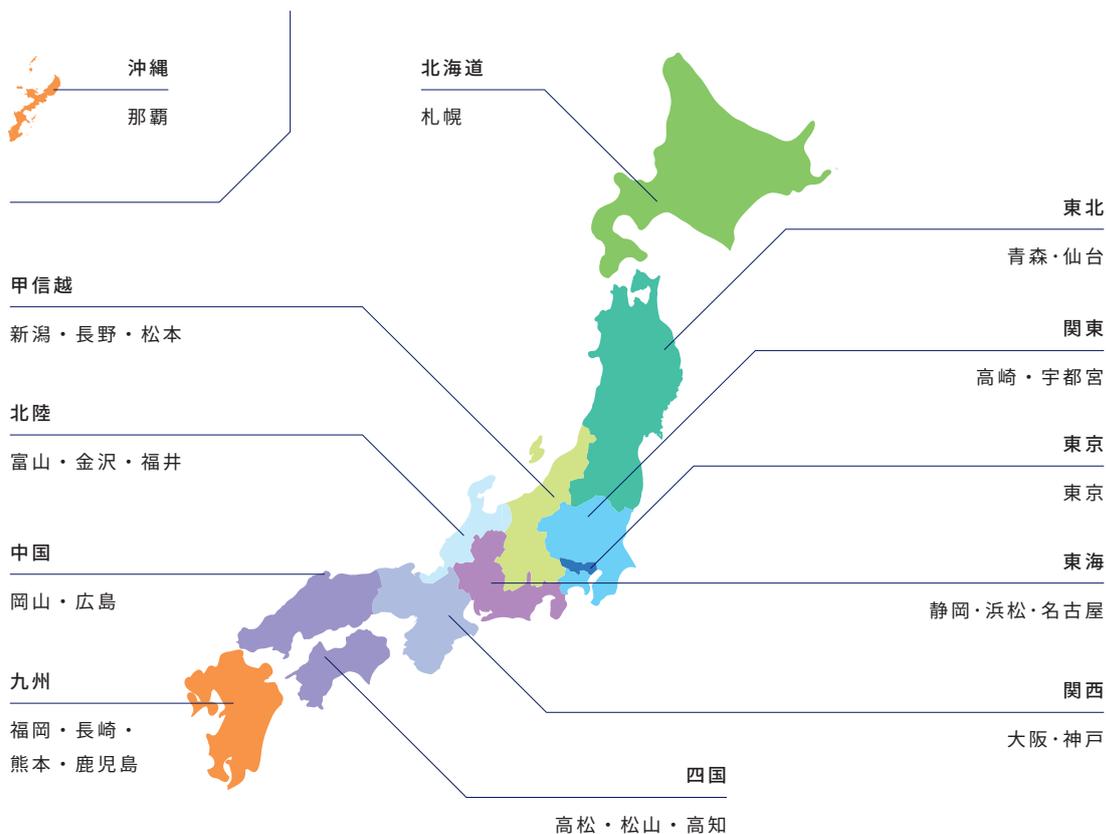
科目試験は年に4回(4月、7月、10月、1月)あり、2024年度は各回10～14都市で実施されます。科目試験の受験申込には指定の期日までにレポートを提出することが条件となります。試験は土曜日に3科目、日曜日に3科目、合計6科目まで受験することができます。試験の結果は成績通知をもって知らせます。試験の結果が不合格であった場合は改めて科目試験受験を申し込んでください。

レポートと科目試験、両方の合格により単位修得となります。

入学後の学習について

入学後の科目試験の受験開始は入学時期によって異なります。4月1日入学の人は入学年度の第II回科目試験(7月)から、10月1日入学の人は入学年度の第IV回科目試験(1月)から受験申込ができます。

2023年度科目試験実施地



2023年度テキスト開講科目一覧（実績）

総合教育科目

区分	分野	科目名	単位数
3分野科目	人文科学分野	哲学	4
		論理学(A)	4
		文学	4
		歴史(日本史)	2
		歴史(東洋史)	2
		歴史(西洋史)	2
		新・法学(憲法を含む)	4
	社会科学分野	政治学(A)	4
		新・経済学	4
		新・社会学	4
	自然科学分野	統計学(A)※経済学部必修科目	4
		数学(基礎)	2
		数学(微分・積分)	2
		数学(線形数学)	2
		地学	4
		物理学	4
		化学	4
生物学	4		
外国語科目	英語Ⅰ	2	
	英語Ⅱ	2	
	英語Ⅲ	2	
	英語Ⅶ	2	
	ドイツ語第一部	2	
	ドイツ語第二部	2	
	ドイツ語第三部	2	
	ドイツ語第四部	2	
	フランス語第一部	2	
フランス語第二部	2		
新・フランス語第三部	2		
フランス語第四部	2		
保健体育科目	保健衛生	2	
	新・体育理論	2	

文学部専門教育科目

区分	科目名	単位数
第1類 (哲学を主とするもの)	西洋哲学史Ⅰー古代・中世ー	4
	西洋哲学史Ⅱー近世・現代ー	3
	論理学(L)	2
	科学哲学	4
	倫理学	2
	現代倫理学の諸問題	4
	日本美術史Ⅰ	2
	社会調査	2
	メディア社会心理学	2
	社会心理学	2
	都市社会学(L)	2
	心理学A	2
	心理学B	2
	教育学	3
	教育心理学	2
	教育史	4
	教育思想史	4
	教育社会学	2
	心理・教育統計学	3
	新・法学概論(L)	2

区分	科目名	単位数
第2類 (史学を主とするもの)	史学概論	2
	日本史概論	2
	日本史概説Ⅰ	2
	日本史特殊Ⅰー法と政治の日本古代史ー	2
	日本史特殊Ⅱーキリシタン史ー	2
	日本史特殊Ⅳ	2
	新・古文書学	2
	世界史概論	2
	東洋史概説Ⅰ	2
	東洋史概説Ⅱー中国史ー	2
	東洋史特殊	2
	西洋史概説Ⅰ	2
	西洋史概説Ⅱ	2
	新・西洋史特殊Ⅰ	2
	西洋史特殊Ⅱー近世ヨーロッパの宗教・政治・社会ー	2
	西洋史特殊Ⅲー近代イギリス国家の成立(中世から近世へ)ー	2
	オリエント考古学	2
	考古学	2
	地理学Ⅰ(L)	2
	地理学Ⅱ(地誌学)(L)	2
	人文地理学(L)	2
第3類 (文学を主とするもの)	日本語学	2
	国語学各論ーさまざまな辞書たちー	1
	国文学	4
	国文学史	3
	近代日本文学	3
	国文学古典研究Ⅰー御伽草子の世界ー	1
	国文学古典研究Ⅱー1ー近世前期小説の展開ー	1
	国文学古典研究Ⅱー2ー近世後期小説の展開ー	1
	国文学古典研究Ⅲー源氏物語と平安時代文学ー	1
	国文学古典研究Ⅳー平安和歌研究ー	1
	国語国文学古典研究Ⅴー中世和歌研究ー	2
	書道	2
	中国文学史	2
	漢文学Ⅰ	2
	漢文学Ⅱー論語ー	1
	漢文学Ⅲー孟子ー	1
	現代英語学	3
	英語学概論	3
	英語音声学	2
	英語史	2
	ACADEMIC WRITINGⅠー英語論文作成法ー	2
	ACADEMIC WRITINGⅡー英米文学・文化研究における英語論文作成法ー	4
	現代英文学	2
	英文学特殊	2
	中世英文学史	2
	近世英文学史	2
	イギリス文学研究Ⅰー散文ー	2
イギリス文学研究Ⅱー詩ー	2	
イギリス文学研究Ⅲー演劇ー	2	
アメリカ文学	2	
アメリカ文学研究Ⅰ	2	
アメリカ文学研究Ⅱ	2	
シェイクスピア研究	2	
日米比較文化論(総論)	2	
近代ドイツ小説	2	
近代ドイツ演劇	2	
フランス文学概説	3	
フランス文学史Ⅰ	4	
フランス文学史Ⅱ	4	
ロシア文学	2	
新・ラテン文学	2	

経済学部専門教育科目

科目名		単位数
必修 科目	◆ 経済原論(ミクロ経済学)(E)	2
	◆ 経済原論(マクロ経済学)(E)	2
	◆ 経済史	4
	◆ 経済政策学(E)	2
	◆ 財政論(E)	2
	◆ 金融論(E)	2
	◆ 経営学(E)	3
選択 科目	マクロ経済学中級	4
	国民所得論	2
	情報とインセンティブの経済学	4
	計量経済学	2
	日本経済史	2
	世界経済史	4
	社会思想史	4
	社会政策(E)	2
	社会保障論(E)	3
	国際貿易論	4
	人文地理学(E)	2
	地理学Ⅰ(E)	2
	地理学Ⅱ(地誌学)(E)	2
	都市社会学(E)	2
	経営分析論	2
	経営数学	2
	商業学	2
	保険学	3
	会計学(E)	3
	簿記論	2
	新・原価計算	2
	会計監査	2
	新・法学概論(E)	2
	憲法(E)	2
	民法	4
	労働法(E)	2
	経済法(E)	2
会社法(E)	4	

◆印…必修科目 無印…選択科目

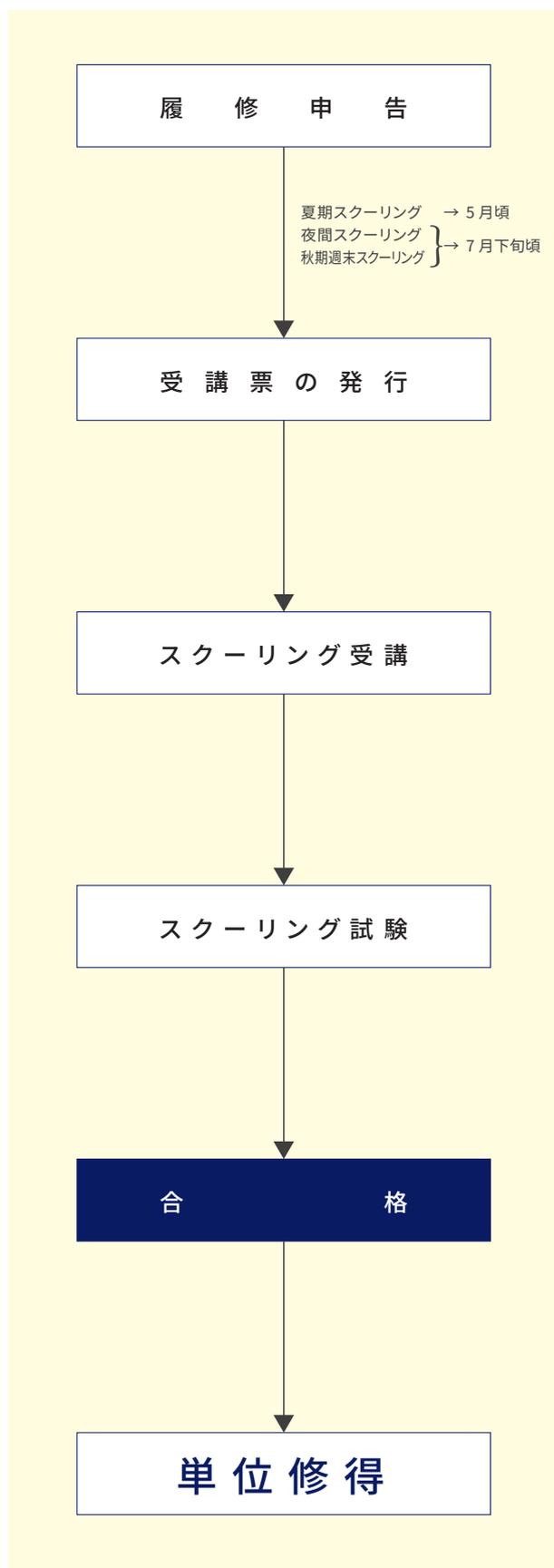


法学部専門教育科目

甲類	乙類	科目名	単位数
◆	◆	憲法(J)	4
◆	□	民法総論	3
◆		刑法総論	3
□		法哲学	2
□		日本法制史	4
□		西洋法制史	4
□	□	国際法Ⅰ	4
□	□	国際法Ⅱ	2
□		行政法	4
□	□	物権法	3
□	□	債権総論	3
□		債権各論	3
□		親族法	1
□		新新・相続法	1
□		会社法(J)	4
□		商法総則・商行為法	2
□		保険法・海商法	3
□		手形法	2
□		刑事政策学	2
□		刑法各論	4
□		民事訴訟法	4
□		破産法	2
□		刑事訴訟法	4
□		国際私法	2
□		労働法(J)	2
□		経済法(J)	2
□		英米法	2
	◆	政治学(J)	6
	□	政治哲学	2
	□	日本政治史	2
	□	ヨーロッパ政治史	1
	□	新・アメリカ政治史	4
	□	ロシアの政治	2
	□	現代中国論	2
	□	日本外交史Ⅰ	4
	□	日本外交史Ⅱ	4
	□	西洋外交史	4
	□	政治思想史	4
	□	ヨーロッパ中世政治思想	2
	□	コミュニケーション論	4
	□	都市社会学(J)	2
	□	人文地理学(J)	2
	□	地理学Ⅰ(J)	2
	□	地理学Ⅱ(地誌学)(J)	2
	□	経済原論(ミクロ経済学)(J)	2
	□	経済原論(マクロ経済学)(J)	2
	□	財政論(J)	2
		金融論(J)	2
		経済政策学(J)	2
		社会政策(J)	2
		経営学(J)	3
		会計学(J)	3
		社会保障論(J)	3

◆印…必修科目 □印…選択必修科目 無印…選択科目

面接授業（スクーリング）の学び方



面接授業（スクーリング）では、通常講義科目の他、通信による自宅学習では困難な実験や実技、演習を行う科目、その他面接授業が必要とされる科目が開講され、一定期間通学して教室等で直接授業を受けます。毎年行われるスクーリングには、夏期スクーリング（実験・体育スクーリングを含む）・夜間スクーリング・秋期週末スクーリングがあります。学生は、卒業までに必要なスクーリング単位数を満たせるよう、各自の学習計画に基づき、スクーリングを履修することになります。なお、入学課程により次のような単位数の修得が卒業までに必要となります。

入学課程	単位数
普通課程	30 単位以上
特別課程	22 単位以上
学士入学	15 単位以上

夏期スクーリング [SS]

例年、8月上旬から8月下旬までの間、3期（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）に分けて開講しています。Ⅰ・Ⅱ期は神奈川県横浜市の日吉キャンパスで、Ⅲ期は東京都の三田キャンパスで実施します。

- 各期は連続6日間で、最終日に試験が実施されます。午前に1科目、午後に1科目履修できます。
- 1期間で最大4単位まで修得することができます。
- 各期のいずれか1期間のみ受講、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期の連続受講など出席期間は任意です。

2023年度実績

期	場所 (対面実施の場合)	日程	時間割
Ⅰ期	日吉	8/7(月)～ 8/12(土)	1時限 9:00～10:45
Ⅱ期	日吉	8/14(月)～ 8/19(土)	2時限 11:00～12:45 3時限 13:45～15:30
Ⅲ期	三田	8/21(月)～ 8/26(土)	4時限 15:45～17:30

実験スクーリング(選択制)

実施場所は神奈川県横浜市の日吉キャンパスです。夏期スクーリングと同時期に開講されます。科目は、物理学・化学・生物学です。履修は希望者のみとなります。時間割は午前クラスが9:00から12:00、午後クラスが、13:45から16:45で開講される予定です。

体育スクーリング（選択制）

選択制で通信授業（テキスト）とあわせ4単位まで卒業所要単位に算入されます。夏期スクーリングと同時期に行われます。実施場所は神奈川県横浜市の日吉キャンパスです。履修は希望者のみとなります。

夜間スクーリング [ES]

例年、10月上旬から1月中旬までの12週間、月曜日から金曜日の18:20から20:05まで開講しています。曜日ごとに1科目（1～2単位）まで修得することができます。実施場所は東京都の三田キャンパスです。夜間スクーリングでは体育や実験は行わないため、これらを履修する学生は各スクーリングに出席する必要がありますが、それ以外のスクーリング単位は夜間スクーリングだけで充足することもできます。また、同一年度に夏期、夜間、秋期週末のすべてのスクーリングに出席することも可能です。

2023年度（参考）

日程					
	月	火	水	木	金
①	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6
②	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13
③	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20
④	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27
⑤	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3
⑥	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10
⑦	11/13	11/14	11/15	11/16	11/17
⑧	11/20	11/28	11/29	11/30	12/1
⑨	11/27	12/5	12/6	12/7	12/8
⑩	12/4	12/12	12/13	12/14	12/15
⑪	12/11	12/19	12/20	12/21	12/22
⑫	12/18	12/26	12/27	1/11	1/12
時間(全て)	18:20～20:05				

※上表は、2023年11月時点の予定のため変更になる可能性があります。

秋期週末スクーリング [WS]

例年、土日を利用した集中型のスクーリング（全12コマ）を数科目ずつ開講しています。

実施場所は東京都の三田キャンパスです。

● 1科目、2単位まで修得することができます。

2023年度実績

日程	時間
10/14(土)	① 13:30～15:15
	② 15:30～17:15
10/15(日)	③ 9:00～10:45
	④ 11:00～12:45
10/21(土)	⑤ 13:30～15:15
	⑥ 15:30～17:15
10/22(日)	⑦ 9:00～10:45
	⑧ 11:00～12:45
10/28(土)	⑨ 13:30～15:15
	⑩ 15:30～17:15
10/29(日)	⑪ 9:00～10:45
	⑫ 11:00～12:45

スクーリング開講科目一覧 ※ 2023 年度実施例

面接授業 (スクーリング)

総合教育科目

科目名	単位数
3分野科目 (人文科学分野)	
哲学	2
論理学	2
倫理学	2
芸術 (音楽)	2
芸術 (美術)	2
歴史 (日本史)	2
歴史 (東洋史)	2
歴史 (西洋史)	2
文学	2
近代思想史	2
身体知	2
3分野科目 (社会科学分野)	
法学 (憲法を含む)	2
政治学	2
経済学	2
社会学	2
社会心理学	2
社会科学概論	2
社会科学特論	2
環境学入門	2
地理学	2

科目名	単位数
3分野科目 (自然科学分野)	
統計学	2
数学 (線形数学)	2
地学	2
心理学 (知覚・認知)	2
心理学 (行動・個性)	2
自然科学概論	2
自然科学特論	2
情報処理	2
物理学実験A・B	2
化学実験A・B	2
生物学実験A・B	2
外国語科目	
英語 (リーディング)	1
英語 (ライティング)	1
ドイツ語 (初級前期)	1
ドイツ語 (初級後期)	1
ドイツ語 (中級)	1
ドイツ語 (上級)	1
フランス語 (初級前期)	1
フランス語 (初級後期)	1
フランス語 (中級)	1

科目名	単位数
フランス語 (上級)	1
中国語 (初級)	1
スペイン語 (初級)	1
ロシア語 (初級)	1
朝鮮語 (初級)	1
保健体育科目 (講義科目)	
保健衛生	1
保健体育科目 (スポーツセミナー)	
水泳	2
バスケットボール	2
ピラティス (健康身体作り)	2
スマートフィットネス	2

文学部専門教育科目

科目名	単位数
第1類 (哲学を主とするもの)	
哲学 (専門)	2
哲学史	2
倫理学 (専門)	2
倫理学特殊	2
芸術学	2
西洋美術史	2
音楽史	2
社会学 (専門)	2
社会心理学 (専門)	2
社会心理学特殊	2
文化人類学	2
宗教学	2
心理学 (専門)	2
心理学特殊	2
教育心理学概論	2
教育学特殊	2
図書館・情報学	2

科目名	単位数
哲学特殊	2
社会学特殊	2
法学概論	2
マス・コミュニケーション論	2
総合講座	2
第2類 (史学を主とするもの)	
日本史概説	2
日本史特殊	2
東洋史概説	2
東洋史特殊	2
西洋史概説	2
西洋史特殊	2
民族学	2
考古学	2
人類学 (専門)	2
人文地理学	2
総合講座	2

科目名	単位数
第3類 (文学を主とするもの)	
国語学各論	2
国文学	2
国文学史	2
近代日本文学	2
書道	2
漢文学	2
英語学	2
日米比較文化論	2
ドイツ語学文学	2
ドイツ文学研究	2
フランス文学	2
フランス文学史	2
フランス語学	2
イタリア文学特殊	2
総合講座	2

経済学部専門教育科目

科目名	単位数
経済原論(ミクロ経済学)	2
ゲーム理論	2
経済学史	2
経済政策	2
財政論	2
金融論	2
マルクス経済学特殊	2
計量経済学	2
日本経済史	2
経済史	2
社会思想史	2
世界経済論	2
産業関係論	2
国際経済学	2
国際金融論	2
国際貿易論	2
経済地理	2
工業経済論	2
公共経済学	2
社会福祉論	2

科目名	単位数
経営学	2
会計学	2
保険学	2
法学概論	2
専門外国書講読(英書)	2
哲学(専門)	2
哲学史	2
倫理学(専門)	2
倫理学特殊	2
社会学(専門)	2
社会学特殊	2
社会心理学(専門)	2
社会心理学特殊	2
心理学(専門)	2
心理学特殊	2
図書館・情報学	2
日本史概説	2
日本史特殊	2
東洋史概説	2
西洋史概説	2

科目名	単位数
西洋史特殊	2
憲法	2
民法	2
会社法	2
行政法	2
破産法	2
法制史	2
法制史特殊	2
日本政治論	2
政治思想論	2
日本政治史	2
政治理論	2
政治過程論	2
国際政治論	2
マス・コミュニケーション論	2
地域研究(現代中国論)	2
地域研究(アメリカ政治)	2
総合講座	2

法学部専門教育科目

科目名	単位数
憲法	2
民法	2
刑法	2
法制史	2
法制史特殊	2
行政法	2
会社法	2
民事訴訟法	2
破産法	2
刑事訴訟法	2
刑事政策学	2
医事法	2
政治理論	2
日本政治史	2
日本政治論	2
政治過程論	2
政治学特殊	2
国際政治論	2
政治思想論	2
社会学特殊	2

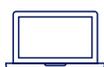
科目名	単位数
マス・コミュニケーション論	2
地域研究(アメリカ政治)	2
地域研究(現代中国論)	2
哲学(専門)	2
哲学史	2
倫理学(専門)	2
社会学(専門)	2
文化人類学	2
宗教学	2
心理学(専門)	2
社会心理学(専門)	2
図書館・情報学	2
日本史概説	2
東洋史概説	2
西洋史概説	2
人類学(専門)	2
経済原論(ミクロ経済学)	2
ゲーム理論	2
経済学史	2
経済政策	2

科目名	単位数
財政論	2
金融論	2
計量経済学	2
公共経済学	2
経済史	2
日本経済史	2
社会思想史	2
世界経済論	2
国際経済学	2
国際貿易論	2
国際金融論	2
産業関係論	2
社会福祉論	2
経済地理	2
経営学	2
保険学	2
会計学	2
総合講座	2

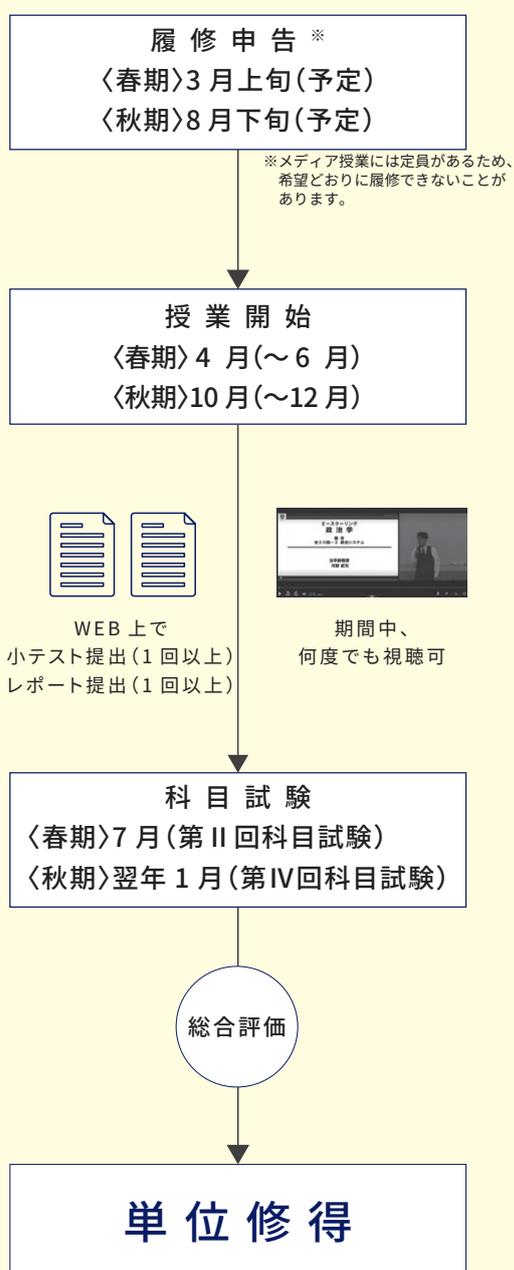
メディア授業（E-スクーリング）の学び方

メディア授業（E-スクーリング）で修得した単位は、
10単位を限度にスクーリング単位に振り替えることができます。

メディア授業（E-スクーリング）



動画配信



メディア授業（E-スクーリング）とは、パソコンの画面を通じて好きな時間に何度でも動画配信で受講できる授業です。春期は4月～6月、秋期は10月～12月に開講し、順次配信されます。

成績は小テスト（1回以上）、レポート（1回以上）と1回の科目試験（春期は7月実施、秋期は翌年1月実施）による総合評価です。



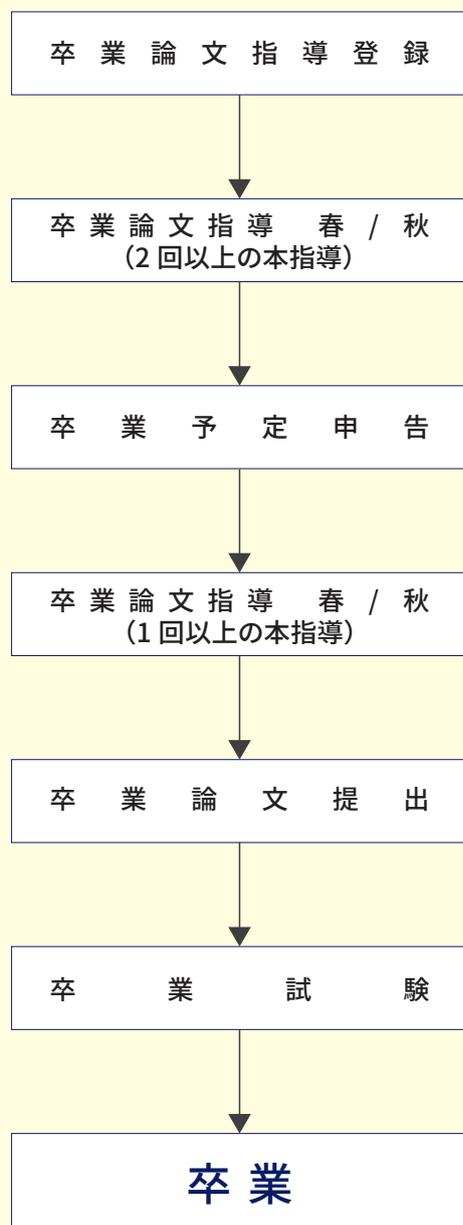
- ① 授業の視聴
- ② 授業の内容に関する質問
- ③ レポート課題・小テストの提出
- ① 授業に関する質問の回答
- ② レポート課題・小テストの講評

2023年度開講科目(実績) ※主設置学部の科目

区分	科目名	単位数
総合教育科目	哲学	2
	政治学	2
	統計学	2
総合教育科目 (外国語科目)	メディア英語(リーディング)	1
	メディア英語(ライティング)	1
	メディアドイツ語(初級前期)	1
	メディアドイツ語(初級後期)	1
	メディアフランス語(初級前期)	1
	メディアフランス語(初級後期)	1
文学部 専門教育科目	倫理学特殊	2
	英語史	2
	西洋史概説	2
	シェイクスピア研究	2
	社会学特殊	2
	中国文学	2
経済学部 専門教育科目	フランス文学	2
	経済原論	2
	近代日本と福澤諭吉	2
	ゲーム理論	2
	マルクス経済学	2
法学部 専門教育科目	日本経済論	2
	刑法	2
	日本政治論	2
	社会学特殊	2
	マス・コミュニケーション論	2
	法哲学	2
	国際法	2
	政治思想論	2
	民事訴訟法	2
	地域研究(ロシアの政治)	2
地域研究(現代中東論)	2	

※春期メディア授業は入学した次の年度から履修することができます。

卒業論文・卒業試験



卒業論文

卒業論文は必修となっており、全員が卒業論文指導を受け、卒業論文を提出しなければなりません。卒業論文指導を受けるためには、一定の資格を満たしたのち、事前に登録の手続（卒業論文指導登録）が必要となります。学生自身でテーマを決め、そのテーマに沿った指導教員の指導の下に資料を収集し、論文の作成を開始します。卒業論文指導とは、通学課程でいう研究会やゼミにあたるもので、研究テーマをすでに自分のものとして把握し、そのために十分な準備をしている学生を対象に、論文作成上のアドバイスを与えることに主眼を置いた制度です。年2回春期と秋期に行われます。論文を提出するまでには、最低3回以上の本指導が必要となります。卒業論文指導を受ける一方、学習が進み、卒業の見通しがつくと、約10か月前に「卒業予定申告」の手続をします。この卒業予定申告が許可されたのち、卒業予定者としてさらに学習を進め、定められた基準を満たすと、卒業論文を提出することができます。

学部	類	卒業論文題目例
文学部	第1類	西田幾多郎『善の研究』における純粹経験概念についての考察
	第3類	俳句報国の諸相 一改造社『俳句研究』における戦時俳壇の苦悩と模索について一
経済学部		世代間重複モデルを用いた定員制講義における優先順序付き多対一配分マッチング
法学部	甲類	濫用的な情報開示請求権の行使に対する権利濫用法理の適用について
	乙類	張学良の蔣介石観 一西安事変前を中心として一

卒業試験

卒業論文を提出すると、最後に卒業試験が行われます。卒業試験では、卒業論文審査と総合面接試験が行われます。これに合格し、卒業要件を充足すると卒業が決定します。

学部	類	学位名称／英語表記
文学部	第1類	学士（哲学）／BACHELOR OF ARTS IN PHILOSOPHY
		学士（美学）／BACHELOR OF ARTS IN PHILOSOPHY
		学士（人間関係学）／BACHELOR OF ARTS IN HUMAN RELATIONS
		学士（図書館・情報学）／BACHELOR OF ARTS IN LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE
	第2類	学士（史学）／BACHELOR OF ARTS IN HISTORY
第3類	学士（文学）／BACHELOR OF ARTS IN LITERATURE	
経済学部		学士（経済学）／BACHELOR OF ARTS IN ECONOMICS
法学部	甲類	学士（法学）／BACHELOR OF LAWS
	乙類	学士（法学）／BACHELOR OF LAWS

教職課程

教職課程とは教員免許状の修得を希望する学生のための特別な課程です。当課程での教員免許状修得にあたっては、正科生として卒業することを前提とし、卒業所要単位とあわせて免許状修得に必要な単位を修得する必要があります。

教職コース登録

教職課程の履修開始には、「教職コース登録」(4月期、10月期) 手続が必要です。教職コース登録手続には、卒業論文指導登録(P.27) がなされている必要があります。

教職単位の修得

免許状取得のために必要となる単位を修得します。免許状取得のために必要となる履修科目の詳細は、教職コース登録後に配布される『教職課程履修案内』に掲載されています。

介護等体験

中学校の免許状を取得する場合には、法律の定めに従い、所定期間、特別支援学校または社会福祉施設等で、介護、介助等の体験を行う必要があります。なお、介護等体験は、当課程の単位にはなりません。

教育実習

原則として卒業年度(教職課程の履修を終える最終年度)に行います。中学校の免許状取得には3週間以上、高等学校のみの免許状取得には2週間以上の実習が必要です。

免許状申請・教員採用

免許状の交付を受けるには、教育委員会への申請が必要です。免許状取得後、公立学校に就職するには各都道府県、政令指定都市の採用試験に合格する必要があります。私立学校では、独自に採用を行っています。

免許状の種類と教科

当通信教育課程で取得することが認められている免許状の種類と教科は以下のとおりです。

学部	免許状の種類・教科	
	中学校一種	高等学校一種
文学部	国語科	国語科
	社会科	地理歴史科、公民科
	英語科	英語科
経済学部	社会科	地理歴史科、公民科
法学部	社会科	地理歴史科、公民科

修得単位数

新たに教員免許状を修得する場合には卒業所要単位 124 単位とあわせて下記の所定単位の修得が必要とされています。卒業に必要な単位以外にも多くの単位の修得を必要とします。

専門教育科目

免許状の種類・教科	教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	合計	介護等の体験
中学校一種	27 単位	28 単位	4 単位	59 単位	要
高等学校一種	23 単位	24 単位	12 単位	59 単位	不要

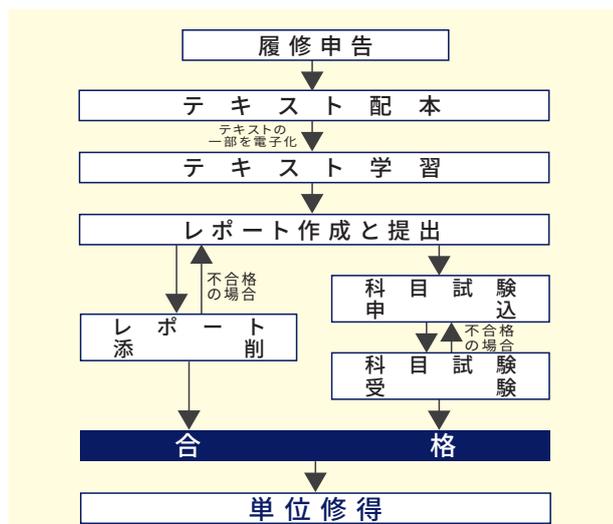
総合教育科目

項目	必要単位	開設科目
日本国憲法	2	法学 (憲法を含む)
情報機器の操作	2	情報処理
外国語コミュニケーション	2	英語
		ドイツ語
		フランス語
体育	2	スポーツクラス、スポーツセミナー
		体育理論

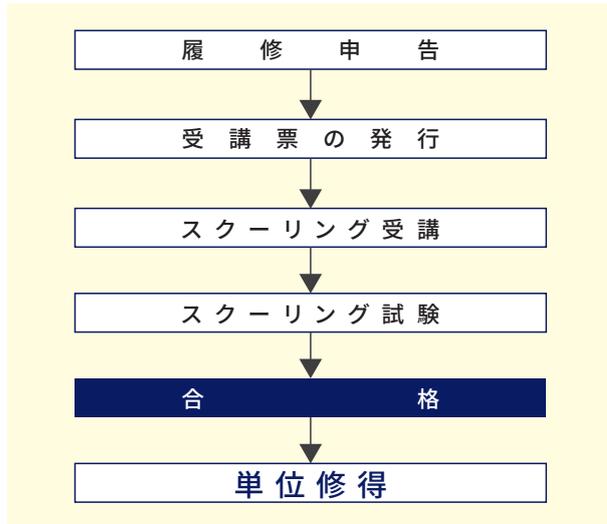
科目等履修生

科目等履修生とは、生涯教育として特定の学問分野の知識を高めたい方、リカレント教育として仕事に関連する分野の知識を修得したい方が、単位の修得を目的として、開講されている専門教育科目から興味・関心に応じて特定の科目を履修するための単年度の制度です。試験（レポート課題等を含む）を受けることができ、合格すれば、単位と成績を修得できますが、学士の学位は得られません。書類選考によって登録が許可されます。

通信授業（テキスト）



面接授業（スクーリング）



① 関心ある分野の学びを深めるチャンスです
文学部、経済学部、法学部の専門教育科目のうち、通信授業（テキスト）、面接授業（夏期スクーリング、夜間スクーリング）で開講されている科目のなかから学びたい科目を選ぶことができます。在籍期間は1年間。1科目から履修が可能で、年間10単位まで履修できます。1年ごとに登録更新の審査を受け、許可を受ければ継続することができます。

② 正科生への準備期間としても活用できます
正科生として入学する前に、科目等履修生として通信教育課程の授業を実際に受講してみることで、講義内容や雰囲気を感じることができます。慶應義塾大学での学びをまずは体験してみたい方にもおすすめです。

③ 修得した単位は単位認定される場合があります
科目等履修生として所定の期日までに修得した単位は、正科生として入学した場合、卒業所要単位として認定される場合があります。

④ 少ない学費で大学での学びを始められます
年間の授業料や施設費がかかるのではなく、履修する単位数に応じて学費を支払う仕組みになっています。たとえば、「国際政治論（2単位）」を履修する場合、

選考料	20,000円
登録料	40,000円
授業料	5,000円×単位数（2）＝10,000円
合計	70,000円

※2026年度から、授業料は6,000円×単位数となります。

で1年間学べます。

- 出願資格は次のとおりです。
 - ① 大学卒業者（大学改革支援・学位授与機構で学士の学位を修得した人を含む）および2024年3月卒業見込みの者
 - ② 短期大学・高等専門学校（5年制）卒業者および2024年3月卒業見込みの者
 - ③ 大学2年以上修了し、卒業所要単位62単位以上を修得した者
- 教員免許状取得を目的とする人は出願できません。教員免許状取得に必要な科目（教職に関する科目）を履修することはできません。
- 出願時期は年1回。2024年度は、2024年3月4日（月）～15日（金）です。

※募集要項や出願に関する詳細は、本課程 WEB サイト「**科目等履修生**」をご覧ください。

Annual schedule

2023年度年間スケジュール（参考）

2023

Apr

May

Jun

Jul

Aug

		Apr	May	Jun	Jul	Aug
通信授業 (テキスト) 	科目試験	4月上旬 第Ⅰ回科目試験	レポート提出締切 第Ⅱ回申込期間		7月上旬 第Ⅱ回科目試験	レポート提出締切 第Ⅲ回申込期間
	夏期・体育・実験 スクーリング					8月上旬～ 8月下旬
面接授業 (スクーリング) 	夜間スクーリング					
	秋期週末スクーリング					
メディア授業 (E-スクーリング) 		4月中旬 - 6月上旬(授業期間) (授業配信は2023年7月科目試験時まで、 小テスト・レポート提出1回以上) ※2023年4月入学の方は受講できません。			7月上旬 第Ⅱ回科目試験	
	行事・オリエンテーションなど		● 4/29[三田] 入学式・入学オリエンテーション			● 8月上旬[日吉] 各種オリエン テーション

※下表は、2023年11月時点の予定のため変更になる可能性があります。

2024							
Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr
	10月上旬 第III回科目試験	レポート提出締切 第IV回申込期間		1月中旬 第IV回科目試験	レポート提出締切 第I回申込期間		4月上旬(予定) 第I回科目試験
試験は各期最終日 最大12単位修得可能							
10月上旬～1月中旬(曜日ごと開催、全12回)				試験は最終日 最大10単位修得可能			
	10月中旬～ 10月下旬の 土日(3週)	試験は最終日 最大2単位修得可能					
10月下旬～12月上旬(授業期間) (授業配信は2024年1月科目試験時まで、 小テスト・レポート提出1回以上)				1月中旬 第IV回科目試験			4月下旬～(予定) 授業開始
		● 11月上旬[三田]各種オリエンテーション ● 11/23 - 11/26 三田祭		● 1/10 福澤先生誕生記念日	● 2/3 福澤先生命日		● 3/25 卒業式

K・I さん

文学部 学士入学
2019年4月入学 - 2023年3月卒業

自ら問いを立て考えていく学びの時間

俳句・短歌を詠むようになったという些細なきっかけ。それが慶應通信との出会いでした。国文学の世界を学び直したい。それも日常の制約や諸事と両立しつつ本格的に学問を学べる環境に身を置きたいという願い。そのような理由で願書を手にしたため、入学当初はどこまで出来るのか期待半分・不安半分で目の前の課題に取り組んでいました。自身の学びの姿勢に変化が生まれたのは、テキストやスクーリングを通して慶應の塾風に慣れてきた頃のこと。ただ知識が与えられるの

ではなく「自ら問いを立て考えていく」という慶應通信を貫く学びのプロセスに学問の奥深さを知り、次第にその魅力に魅せられていきました。難解な問いにも、どこか「楽しむ」気持ちを持ちながら真摯に学問と向き合う時間。その時間を通して得られる自身の変化や成長が、何物にも代えがたい学びの糧となっていったのです。入学前には想像もしなかった学問の彩り。学びの絶景が慶應通信の遥かな旅路には広がっていました。

Message 一歩ずつ、十人十色の探究が待つ学びの山へ

「学問を楽しむ」という気持ちを忘れずに真摯に問いに向き合うということ。入学時に問われる十人十色の知的好奇心こそが、慶應通信の学びでは最後まで大切なものとなります。いかなる登山も第一歩から。ときには

困難がありながらもそこにしかない景色を愉しみ、自身の成長を楽しむ。本冊子との出会いがその一歩目なることを祈念しております。

D・Y さん

経済学部 特別課程
2018年4月入学 - 2023年3月卒業

新しい挑戦も可能な学び直し現場

私は零細企業を経営する中で、経済・経営・会計知識が絶対的に不足している現実に直面し、学び直しのため慶應通信に入学しました。当初は経営分野に興味がありましたが、ミクロ経済学の一分野に惹かれ、最終的には卒業論文のテーマとなりました。自分でも想定外の結果となりましたが、必要に迫られた学習ではなく、能動的に学びたいと思える分野に出会えたことが、現在でも学習意欲の源となっています。テキスト科目は年4回の科目試験ごとに学習サイクルを

見直し、レポート執筆と試験勉強に充てる時間をバランス良く配置するように努めました。スクーリングについては年単位でうまく散らしつつ局所的に負担が増加しないよう履修計画を組みました。日々の学習については、私は集中力が続かないため30分勉強し5分休むというようなサイクルでしたが、切り替えは得意でしたので、自分には合っていたように感じます。試行錯誤しながら自分なりのペースが掴めてきたなと感じた頃には、卒業が現実的となっていました。

Message 他人と比較しない

大学教育最大の魅力の一つは、人間交流、関連科目学習などにより、手段の範疇を超えた新しい学問的興味の発見があることではないでしょうか。SNSでは他人の華やかな一面が目が行きがちですが、これに感化

され効率に比重が傾くと、本来の学び直し、学問の探求という真の目的を見失ってしまいます。一喜一憂せず目的をしっかり持ち、自分のペースで勉強を継続してください。

卒業生にとって慶應通信での学びはどのようなものだったのか、振り返って良かったと思うことは。

H・S さん

法学部 普通課程
2019年4月入学 - 2023年3月卒業

学びたいことが見えた今、再び学ぶということ

私の現在の仕事は、法律に接しつつ論理的な文章を書く機会が多く、法令解釈能力や文章力を高めたいと日々考えていました。そのような中で、慶應通信の存在を知るようになるのですが、ここでは、仕事や家庭と両立しつつも、自身が高めたい能力について、著名な先生方から高度な学びを得られることに特に大きな魅力を感じ、すぐに入学を決意しました。入学してからは、レポート執筆や科目試験のための文献の読み込み、卒論の先行研究調査や研究・執筆など、充実した日々の

学習を進めていき、あっという間に卒業を迎えました。学習の中では、自身が身につけたい能力のほか、期日から逆算した学習計画立案や、何を学ぼうとしているのかという目的を意識したうえでの学習といった、物事に効率的に取り組むための思考も定着させることができ、仕事にも通じるスキルを磨くことができました。大人になってから成長の実感を得られたことは、非常に良い経験であり人生の大きな糧になりました。

Message 踏み出そう～学習計画と主体的に学ぶ姿勢を大切に～

通信教育の特性上、いつまでに何をやるのかといった学習計画の立案と、自ら学ぶ主体性を持つことがとても大切です。入学したころは、卒業までやり切れるのか不安を感じていましたが、計画を立て、それに基づいて

自発的に学んでいくうちに楽しくなっていき、不安はすぐに消えていきました。最後は入学してよかったと心から思えるはずです。まず一步踏み出してみてください。



卒業までの道のり

THE WAY TO THE GOALS

K・I さん

学士入学 入学時認定単位40単位

単位修得時期 (入学後)	項目	修得単位数 ()は内数・20-21が科目単位数	
1年目	専門教育科目	14	(8)
2年目	外国語科目(総合教育科目)	8	(6)
	★卒業論文指導登録	—	
3年目	外国語科目(総合教育科目)	2	(20)
	専門教育科目	23	
	自由科目(総合教育科目)	4	
4年目	教職課程専門教育科目	4	(8)
	専門教育科目	14	
	卒業論文	8	

D・Y さん

特別課程 入学時認定単位18単位

単位修得時期 (入学後)	項目	修得単位数 ()は内数・20-21が科目単位数	
1年目	3分野科目(総合教育科目)	4	(6)
	外国語科目(総合教育科目)	2	
	保健体育科目(総合教育科目)	2	
2年目	3分野科目(総合教育科目)	14	(8)
	外国語科目(総合教育科目)	2	
3年目	3分野科目(総合教育科目)	2	(10)
	外国語科目(総合教育科目)	4	
	専門教育科目	25	
4年目	専門教育科目	39	(12)
	★卒業論文指導登録	—	
5年目	3分野科目(総合教育科目)	2	(2)
	専門教育科目	4	
	卒業論文	8	

H・S さん

普通課程

単位修得時期 (入学後)	項目	修得単位数 ()は内数・20-21が科目単位数	
1年目	3分野科目(総合教育科目)	12	(4)
	外国語科目(総合教育科目)	4	
2年目	3分野科目(総合教育科目)	18	(18)
	外国語科目(総合教育科目)	4	
	保健体育科目(総合教育科目)	2	
3年目	専門教育科目	34	(10)
	3分野科目(総合教育科目)	8	
	専門教育科目	32	
	★卒業論文指導登録	—	
4年目	専門教育科目	2	(0)
	卒業論文	8	

※卒業所要単位数は合計 124 単位です。

キャンパスライフと モデルケース

Campus Life &
Model Case

Model Case

東京在住のTさん

会社員として働きながら
学士入学で法学部へ

4年で卒業



通勤や移動の時間を利用して
学習にあてることも。
ちょっとした時間の利用が
大切なんです！



仕事と学習の
メリハリは重要です。
勤務中はバリバリの
ビジネスマンに！



秋期週末スクーリングのために
三田キャンパスへ。
大学に行って
学生気分を満喫！



秋期週末スクーリングで知り
合った同級生と情報交換の
ランチ・ミーティング。
仲間との交流は学習の励みになります！



学習は出勤前と
帰宅後のオフタイムに。
メディア授業なら
時間を選ばず便利です！



夏期オリエンテーションへ参加。
先生にいろいろと
質問しました。



仕事と勉強だけでなく
家族サービスも欠かせません。
休日には家族と河原で
バーベキュー！

修得単位：入学時40単位認定+84単位

1年目

テキスト	8単位
スクーリング	12単位

2・3年目

テキスト	30単位
スクーリング	8単位
メディア授業	2単位

4年目

テキスト	12単位
スクーリング	4単位
卒業論文	8単位

レポート作成に苦労しましたが、
夏期スクーリング出席以降、
コツがつかめてきました

2年目からは順調に単位修得。
スクーリングでは幅広い
分野の科目を受講しました。

卒業論文指導は厳しかった
ですが、やりがいがありました。

主な費用：約92万円

学費

71万円
1年目：20万円
2～4年目：17万円/年

スクーリング授業料

12万円 (5,000円×24単位)*1

メディア授業料

2万円 (1科目)*2

テキスト費

約7万円 (指定市販テキスト購入)

ほかに、レポート提出郵送料、科目試験やスクーリング出席時の
交通費、学習のための各種書籍代など

*1 2026年度以降は1単位6,000円となります(P.16)。

*2 2026年度以降は1科目25,000円となります。

慶應通信には、最短年数で卒業する方から12年間フルにつかって卒業する方まで、さまざまな方がいます。仕事や子育てで忙しくても、ライフスタイルに応じて自由に学習を続けることができます。ここでは、学士入学で4年間かけて卒業したTさん(東京在住)と普通課程で6年間かけて卒業したHさん(札幌在住)のモデルを紹介します。
※全てのスクーリング、オリエンテーション等が対面実施の場合のモデルケースです。



科目試験は札幌市内で受けられるので主婦の私にはとても便利です!



Model Case

札幌在住のHさん

主婦として子育てしながら
普通課程で文学部へ **6年で卒業**



札幌市の慶友会では先輩たちからたくさんのアドバイスをいただきました。仲間との交流が勉強の励みになります。



子供が学校に行っているあいたが私の勉強時間。段取りよく家事もこなします!



子どもが夫と公園で遊んでいるあいた、スマホを使って電子テキスト(e-Text)を読みました。



レポートや卒論作成のために地元の公共図書館へ。取寄サービスもフル活用しました。



毎年、夏はスクーリングに参加。せっかく東京へ来たので学習の合間に美味しい料理も楽しめます。

修得単位:124単位

1年目	
テキスト	8単位
スクーリング	12単位
2~4年目	
テキスト	66単位
スクーリング	14単位
5・6年目	
テキスト	12単位
スクーリング	4単位
卒業論文	8単位

送付された大量のテキストにびっくり! 無理せず、学びやすそうな科目から学習開始。

スクーリングでは苦手科目を積極的に受講。理解を深めてからテキスト学習を行いました。

5年目までに概ねの単位を修得し、卒論に集中。面接試問は緊張しました!

主な費用:約157万円

学費	105万円 1年目:20万円 2~6年目:17万円/年
スクーリング授業料	15万円(5,000円×30単位) ^{*1}
テキスト費	10万円(指定市販テキスト購入)
スクーリング交通/宿泊費	27万円 札幌-東京往復航空券: 2万円×6年(早割利用) 5,000円×30泊(ウィークリーマンションなど)

ほかに、レポート提出郵送料、科目試験時の交通費、学習のための書籍代、卒業論文指導のための交通費など

*1 2026年度以降は1単位6,000円となります(P.16)。

Frequently Asked Questions

よくあるご質問

※「よくあるご質問」については右記のサイトをご参照ください。 <https://www.tsushin.keio.ac.jp/faq/>

出願について

短期大学・大学を卒業した者ですが編入できますか？

編入制度はありません。短期大学の場合は特別課程入学、大学の場合は学士入学となり、それぞれ定められた総合教育科目の単位が認定されます。また、在学所要年数もそれぞれ異なります。

海外でも学習できますか？

海外でも学習は可能ですが、科目試験、スクーリング、卒業論文指導等については、日本国内のみで実施しています。

その他、出願についてのよくあるご質問は [こちら](#)

学習方法について

パソコンの利用は必須ですか？

学習をすすめるために、パソコンやインターネットを使用できる環境が必須です。スクーリングやメディア授業などの履修申告や科目試験の申込み、成績の確認や大学への問い合わせなどは「kcc-channel」という学習活動支援システムを使用していきます。メディア授業はオンラインで授業を受講できる環境が必要です。モバイル端末（スマートフォン等）ではなく、インターネットにつながるパソコンを使用する環境をご準備ください。

在学中に学習指導や相談を受けることができますか？

教員による学習指導は、オリエンテーション等の機会に受けることができます。事務局では卒業所要単位や手続に関する相談に随時応じています。

スクーリングを受けずに卒業できますか？

できません。卒業までに、所定の単位をスクーリングで修得することが必要となります。なお、メディア授業で修得した単位は、10単位までスクーリング単位に振り替えることが可能です。

その他、学習についてのよくあるご質問は [こちら](#)

卒業について

指導教員はどのように決まるのですか？

卒業論文指導申込時に提出したテーマ・書類をもとに、大学にて選定します。指導は本塾大学の専任教員が担当します。申込時に学生が希望指導教員を挙げますが、必ずしも希望どおりに選定されるとは限りません。

卒業すると、大学卒業資格が得られますか？

「学士」の学位が授与されます(P.27)。なお、大学院への入学資格については各大学院にお問い合わせください。

卒業証書、卒業証明書に「通信教育課程」という文字は入るのでしょうか？

学位記(卒業証書)と和文の卒業証明書には「通信教育課程」の文字は入りません。学位記は通学課程と同様のものが授与されます。なお、成績証明書には和文・英文ともに「通信教育課程」と入ります。

その他、卒業についてのよくあるご質問は [こちら](#)

教職課程について

教職課程を履修する場合、
通常の学費以外にかかる費用は？

教職コース登録費(30,000円、正科生在学中6年間有効)、追加の授業(1単位につき5,000円*)、介護等体験費(実施地により異なる)、教育実習費(25,000円程度)の費用がかかります。修得予定の免許教科と所属学部との組み合わせにより異なりますが、教職課程を満了するには、卒業所要単位のほか、少なくとも30~40単位程度の履修を必要とします。

※2026年度以降は1単位6,000円となります(P.16)。

卒業までに教員免許状申請に必要な
単位を取り終えることが
できなかった場合はどうなりますか？

卒業後、引き続き教職課程の履修を希望する場合は、教職課程科目等履修生として在籍し、必要単位を履修することができます。出願にあたっては書類選考を行います。在籍期間は1年間ですが、1年間を超えて継続を希望する場合は、1年ごとに登録更新の審査を受け、許可を得ることが必要です。登録費用は、選考料(20,000円)、登録料(40,000円)、授業料(1単位につき5,000円*、市販書テキスト代金は別途)となります。

※2026年度以降は1単位6,000円となります(P.16)。

その他、教職課程についてのよくあるご質問は [こちら](#)

各種システム

keio.jpでできること

keio.jpは、「慶應義塾共通認証システム」の通称で、義塾が提供する各種オンラインサービスを安全かつ便利に利用するための認証システムです。

入学後、keio.jp利用登録のため、慶應IDを取得してもらいます。学習活動に欠かせないシステムです。

- ・ 事務局からの各種お知らせ確認(News・Message機能)
- ・ 災害時の安否確認等、大学からのお知らせ(慶應メール)
- ・ Microsoft 365 Apps、Google Workspace、Box、Webex等のサービス利用
- ・ キャンパス内無線LAN(keiomobile2)の利用
- ・ kcc-channelなど各種学習活動支援システムへのアクセス
- ・ 電子テキストの閲覧

kcc-channelでできること

kcc-channelは、慶應義塾大学通信教育課程で学習を進めていくために必要となる情報の閲覧や各種手続をWEB上で行える学習活動支援システムです。keio.jpからアクセスが可能です。

- ・ 学籍情報の照会、住所変更など
- ・ 履修状況・単位修得状況の確認
- ・ WEBレポート提出
- ・ 科目試験申込、スクーリング受講申込、メディア授業履修申告
- ・ 卒業論文関連の各種申込
- ・ 教職課程関連の各種申込
- ・ 補助教材の入手、教材購入
- ・ 各種書類のダウンロードや問い合わせ、Q&Aなどの学習サポート

電子テキスト

紙のテキストを自宅に配送するとともに、一部のテキスト科目について、電子テキストを配信しております。スマートフォンやタブレットを使っていつでもどこでも気軽に学習することができます。

電子テキスト配信サービスは、iOS/Android端末のアプリ『慶應通信 e-Text』を通じて提供しています。このアプリでは、初回ログイン時に学生ごとの履修状況を自動で反映し、履修科目のなかで電子テキストが提供されているものはすべて閲覧できるようになります。ログイン後は、「WEB書庫」と呼ばれるインターネット上の書庫から、読みたい電子テキストを選択、ダウンロードし、いつでもアプリ内で閲覧することができます。

学習サポート・奨学制度

奨学制度

慶應義塾大学では奨学金を学生に給付または貸与することにより勉学に専念できる環境を整え、将来良識ある社会人として活躍できる人材を育成することを目的とし、奨学制度を設けています。原則、入学時の学費払込に利用できる制度はありません。また、科目等履修生および教職科目等履修生は対象外となります。

三田会記念大学奨学金(給付)

この奨学金は、同一年度に卒業した塾員で構成される年度三田会からの寄付金を基に設けられたものです。人物・学業・成績ともに優秀で、かつ家計状況が急変し、経済的理由により学業の継続が困難となった学生を援助することを目的としています。

給付	118年 三田会記念大学 奨学金	・在学2年目から5年目であること ・当年度の夏期スクーリングに全期間出席できること ・家計状況が急変し、経済的理由により学業の継続が困難なこと。
給付	121年 三田会記念大学 奨学金	・出願時の修得単位が70単位以上であること ・当年度の夏期スクーリングに全期間出席できること ・家計状況が急変し、経済的理由により学業の継続が困難なこと。

日本学生支援機構奨学金(貸与)

日本学生支援機構の奨学金は、特に優れた学生で経済的理由によりスクーリング(面接授業)に出席することが困難な学生に貸与されます。

貸与	1. 第一種奨学金(無利子) 2. 第二種奨学金(有利子)
出願資格	・当年度の夏期スクーリングに全期間出席できること ・その他、日本学生支援機構の定める要件を満たすこと

日本学生支援機構奨学金返還猶予(在学届)

日本学生支援機構奨学金は、大学に在学中は「在学届」の提出により返還が猶予されます。返還猶予を受ける際、通信教育課程の学生は新入学の際だけでなく、毎年「在学届」を提出することが必要です。

高等教育の修学支援新制度について

慶應義塾大学は、2020年度から開始された国による「高等教育の修学支援新制度」の対象校です。高等教育の修学支援新制度に関する詳細は以下のWEBサイトでご確認ください。

文部科学省「高等教育の修学支援新制度」

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

日本学生支援機構「給付奨学金」(2020年4月以降)

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>

慶應義塾大学通信教育課程奨学金

2023年、慶應義塾大学通信教育部は開設75年を迎えます。その記念事業の一環として、「慶應義塾大学通信教育課程奨学金」を創設します。この奨学金は、通信教育課程卒業生をはじめとした多くの方々からいただいた寄附金により運営される、給付型の奨学金です。申請資格等の詳細については、入学後の通知をご確認ください。

各種割引

郵便料金

通信教育関係の郵便物には、郵便料金の割引(第4種郵便物の取扱)の適用を受けられるものがあります。

- ①大学へのレポート提出
- ②所定の質問用紙による質問(学科内容に関するもの)の提出等

交通機関運賃

通信教育部で行う行事(試験・一部スクーリング等)に出席する場合には、学生生徒旅客運賃割引証(JR片道100キロメートルを超えて乗車)ならびにスクーリング期間については通学定期券を購入するための通学証明書の発行を受けることができます。また、科目等履修生および教職科目等履修生は対象外となります。

美術館・博物館利用

慶應義塾大学では国立科学博物館「大学パートナーシップ」・東京国立博物館「キャンパスメンバーズ」・国立美術館「キャンパスメンバーズ」に加入しています。これらの制度を利用すると、学生証を提示するだけで、常設展は無料、特別展は割引料金で観覧できます。詳細については各施設のWEBサイトをご確認ください。

慶友会について

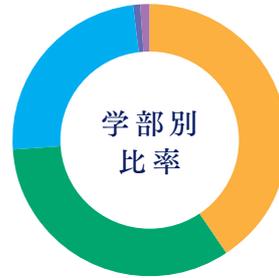
慶友会とは、全国各地に在住する通信教育課程の学生(科目等履修生と教職課程科目等履修生は除く)が、学生間の学習上の啓発を目的として自主的に結成している公認の学生団体です。活動地域は様々で、現在その数は40団体以上に及びます。

普段は個々に勉学に励む学生たちが、学習会や学習を進めるための情報交換会を開くなど、交流を深めています。会報誌の発行やWebサイトを公開している団体もあります。また、慶應義塾大学の専任教員を講師として招聘し、活動地域において講演会やゼミナールを実施できる「講師派遣」という制度を活用することにより、多くの団体が、講師との対話を通じた学びの場を意欲的に設けて活動しています。

データで見る通信教育部

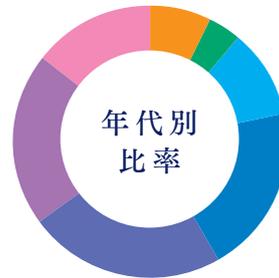
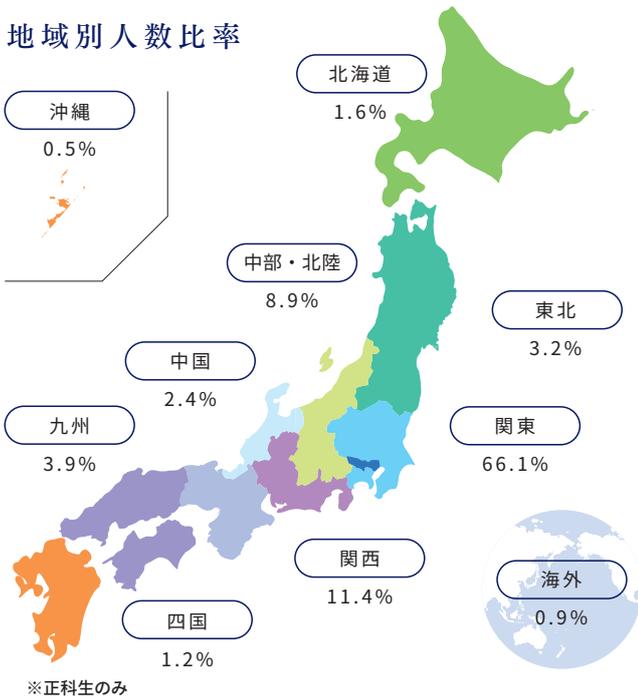
在学生数データ（2023.5.1 現在）

総計
8,489人

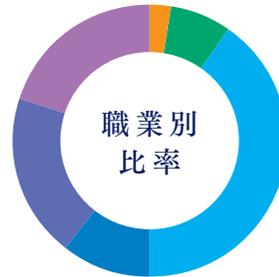


- 文学部 39.1%
- 経済学部 34.3%
- 法学部 24.9%
- 教職課程科目等履修生 0.7%
- 科目等履修生 1.0%

地域別人数比率



- 18歳～ 6.9%
- 23歳～ 5.0%
- 25歳～ 10.8%
- 30歳～ 19.7%
- 40歳～ 21.3%
- 50歳～ 22.1%
- 60歳～ 14.2%
- ※正科生のみ



- 教員 2.5%
- 公務員 7.3%
- 会社員 43.3%
- 個人営業・自由業 10.4%
- 無職 24.0%
- その他 12.5%
- ※正科生のみ

新入生・卒業生数データ（正科生）

2023年度4月期新入生・学部別人数

		総計
文学部	第1類	147
	第2類	52
	第3類	64
	合計	263
経済学部		240
法学部	甲類	82
	乙類	42
	合計	124
総計		627

2023年度4月期新入生・年代別人数

	総計
18歳～	166
23歳～	38
25歳～	78
30歳～	114
40歳～	90
50歳～	88
60歳～	53
総計	627

2022年度卒業生・学部別人数

		総計
文学部	第1類	70
	第2類	33
	第3類	37
	合計	140
経済学部		79
法学部	甲類	48
	乙類	36
	小計	84
総計		303

通信教育部の沿革

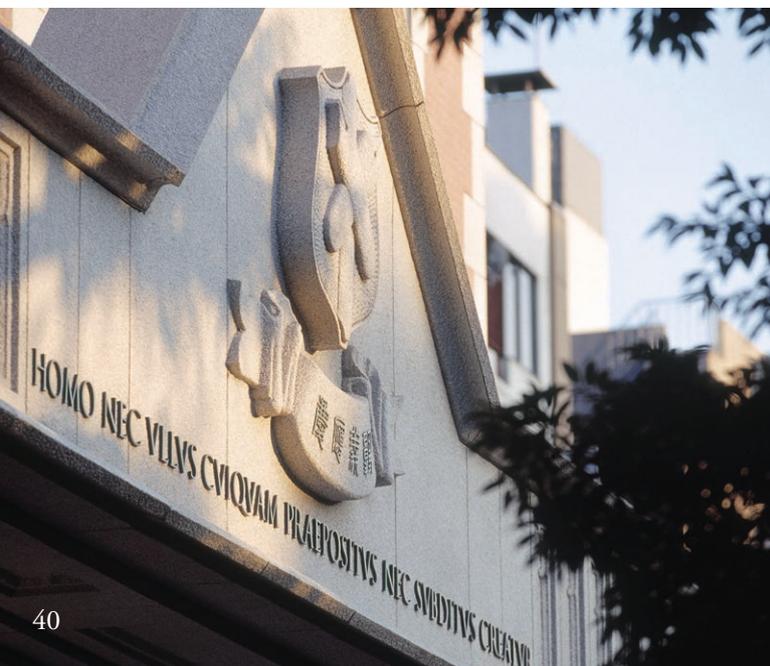
慶應義塾

- 1834 ● 12月12日、福澤諭吉生まれる
- 1858 ● 福澤諭吉、蘭学塾を創始
- 1868 ● 慶應義塾と命名
- 1871 ● 新銭座から三田に移転
- 1874 ● 幼稚舎発足
- 1885 ● このころからペンの記事が使われはじめる
- 1890 ● 大学部(文学・理財・法律)発足
- 1898 ● 一貫教育完成
- 1901 ● 2月3日、福澤諭吉長逝
- 1906 ● 大学院設置
- 1917 ● 医学科開設
- 1920 ● 大学令による大学となる
(文・経済・法[法律・政治]・医学部)
- 1934 ● 日吉キャンパス開設
- 1944 ● 工学部開設
- 1949 ● 新制大学(文・経済・法・医・工学部)発足
- 1957 ● 商学部開設
- 1958 ● 創立100年記念式典挙行、天皇陛下ご親臨
- 1990 ● 湘南藤沢キャンパス
(総合政策学部・環境情報学部)開設
- 2001 ● 看護医療学部開設
- 2008 ● 創立150年記念式典挙行、天皇皇后両陛下ご親臨
芝共立キャンパス(薬学部)開設
慶應大阪リバーサイドキャンパス開設
- 2013 ● 慶應大阪シティキャンパス開設
(慶應大阪リバーサイドキャンパスを移転)



通信教育部

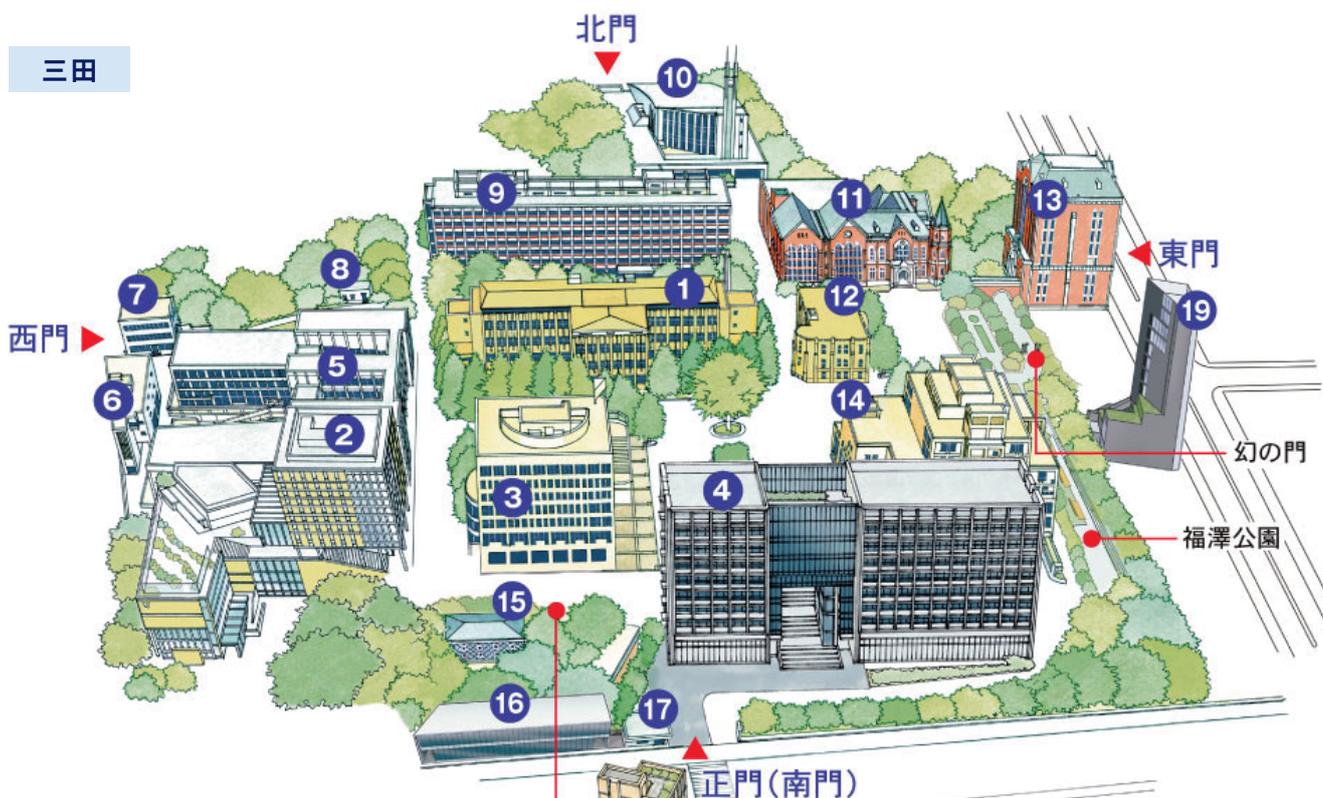
- 1948 ● 大学通信講座開講。夏、わが国初のスクーリング実施
- 1949 ● 教職課程を設け聴講生制度を新設
日本育英会(現:日本学生支援機構)奨学金貸与開始
- 1950 ● 新制大学通信教育課程(文・経済・法学部)認可
- 1952 ● わが国初の大学通信教育による卒業生34名を送り出す
- 1958 ● 開設10年を記念して日本短波放送(現:ラジオNIKKEI)に
「慶應義塾の時間」を開設、全国放送を開始
- 1961 ● NHK、大学通信教育実施6大学との協力により
大学通信講座開設
- 1966 ● テレビ講座生物学開講(1975年閉講)
- 1968 ● 学習指導室の開設
- 1969 ● 通信教育学生会部を設置
- 1970 ● 入学者への学力考査廃止
- 1971 ● 慶友会等への講師派遣の制度化
- 1973 ● 開設25周年記念式を挙行
- 1980 ● 必修外国語として英語に加え
ドイツ語・フランス語の3か国語開講
- 1984 ● 教職コース設置、自由科目制導入
- 1986 ● 冬期体育実技(スキー)スクーリング開講(2013年閉講)
日本短波放送による放送授業開始
(英語・ドイツ語・フランス語)
- 1994 ● 三田キャンパス北新館(現:北館)の竣工に伴い事務局を移設
- 1997 ● 補助教材『慶應通信』をタブロイド判から
冊子体『ニューズレター慶應通信』へ変更
- 1998 ● 開設50年記念式典挙行
- 2006 ● 放送授業外国語科目のオンデマンド配信開始
- 2008 ● E-スクーリング開講
- 2009 ● 初の地方スクーリングを大阪で開講
- 2013 ● 週末スクーリング開講
- 2015 ● 大阪スクーリング開講
- 2017 ● 電子テキスト配信サービス開始
- 2018 ● 開設70年
- 2019 ● レポートのWEB提出開始
- 2020 ● 科目等履修生受入開始
- 2021 ● インターネット出願開始



キャンパス案内

※交通アクセスについては、裏表紙を参照してください。

三田



- ① 第1校舎 (101-147)
- ② 南館 (2B11-2B42)
- ③ 大学院校舎 (311-375-B)
- ④ 南校舎 (411-477) : ホール・学生食堂 (ザ・カフェテリア) 社中交歓 萬來舎
- ⑤ 西校舎 (501-545) : ホール・学生食堂 (生協・山食)
- ⑥ 購買施設棟: 生協購買部
- ⑦ 西館
- ⑧ 労働組合本部
- ⑨ 研究室棟
- ⑩ 北館 (大会議室、ホール、ファカルティクラブ)
- ⑪ 図書館旧館 (福澤諭吉記念慶應義塾史展示館、カフェ八角塔)
- ⑫ 塾監局
- ⑬ 東館 (ホール・G-SEC Lab)
- ⑭ 図書館 (三田メディアセンター)
- ⑮ 三田演説館
- ⑯ 三田インフォメーションプラザ
- ⑰ 警備室
- ⑱ 南別館 (アート・スペース)
- ⑲ 東別館 (慶應義塾ミュージアム・commons)

日吉



- ① 日吉図書館 (日吉メディアセンター)
- ② 第4校舎A棟 (J411-J447)
- ③ 第4校舎B棟 (J11-39、ゼミ3、ゼミ4)
- ④ 第4校舎独立館 (DB105-DB203、D101-D413) 日吉コミュニケーション・ラウンジ
- ⑤ 第6校舎 (J611-642、ゼミ1、ゼミ2) グリーンズテラス
- ⑥ 第3校舎 (301-336)
- ⑦ 塾生会館 (課外活動棟)
- ⑧ 食堂棟 (学生食堂、学生団体スペース)
- ⑨ 来往舎 (研究室、会議室、シンポジウムスペース、ファカルティラウンジ)
- ⑩ 生協購買部
- ⑪ 藤山記念館 (F01-F11、会議室)
- ⑫ 第7校舎 (701-704)
- ⑬ 第2校舎 (214-244)
- ⑭ 体育館 (柔・剣道場)
- ⑮ スポーツ棟 (体育研究所・卓球場)
- ⑯ 第8校舎 (811、812、831)
- ⑰ 記念館
- ⑱ 第1校舎 (高等学校)
- ⑲ 日吉協育棟 (高等学校)
- ⑳ 日吉会堂 (高等学校体育館)
- ㉑ 高等学校柔道場
- ㉒ スポーツ医学研究センター
- ㉓ 保健管理センター (日吉診療所)
- ㉔ 協生館 (協生館図書室、藤原洋記念ホール、保育支援施設、開放型体育施設、飲食店、コンビニエンスストア)

三田キャンパス

夏期スクーリング、夜間スクーリング、秋期週末スクーリング、科目試験 (東京会場) が実施されます。また通信教育課程の方は、メディアセンター (図書館: マップ⑭)、情報センター (KIC: マップ④) が利用できます。なお、通信教育部事務局は北館地下1階にあります (マップ⑩)。

日吉キャンパス

夏期スクーリングが開講されます。また、選択制である実験スクーリング、体育スクーリングも、夏期スクーリングと同時期に日吉キャンパスで開講されます。

Keio University



2024年度出願期間

2024年4月1日入学

2024年2月9日から3月8日まで

2024年10月1日入学

2024年8月12日から9月10日まで

問い合わせ先

電話受付時間等 詳しくはWEBサイトをご覧ください

通信教育部
事務局

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

<https://www.tsushin.keio.ac.jp/>

電話：03-3455-5242

電話受付時間：平日10:00～11:30

12:30～16:30